

令和5年度

# かいづのこども



海津市学校保健会

## はじめに

日頃は、海津市学校保健会に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。私は、会長に就任して今年で6年目になりました。

令和元年度末から3年間以上にわたる対応となった新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置付けは変更されましたが、基本的な感染症対策をとりながら、持続可能な学校運営を進めていくことが重要となっています。現在は、コロナ禍によってもたらされた子どもたちの健康課題の解決に向けた新たな段階を迎えています。

海津市においては、小学校10校の約1300人、中学校3校の約800人の子どもたちがこれまでの経験を生かして、自ら判断してマスク着用や黙食等に取り組んでいます。学校では、宿泊的な行事や運動会、保護者や地域の方を招いての行事など、コロナ禍前に行っていた活動を改善しながら実施できるよう工夫した取組がなされています。このように、コロナ禍に対しての対応が緩和されてきたことから、学びの輪が広がってきています。今後も、子どもたちがより生き生きと生活できることを願うばかりです。

そのためにも、学校と学校医・学校歯科医・学校薬剤師の組織的な連携を強化するとともに、家庭・地域との連携を深めることが重要であると考えています。本会では、様々な職種の専門家が集まり、それぞれの観点から、健やかで元気な子どもたちの育成をサポートできように取り組んでいます。海津市の将来を担う宝、子どもたちの安全な教育環境をいかにサポートするかという重要な役割を海津市保健会は担っており、身の引き締まる思いです。

さて、手引きとして、多数の先生方のご尽力とご協力によって、年に一度発行されておりますこの冊子「かいつのこども」は、健やかで元気な子どもたちの育成に大きく寄与するものと思います。これまでのデータと比較していくことで、コロナ禍による子どもたちの発育状況・健康状況ならびに体力への影響がどのように出ているのかを明らかにすることができると考えています。そして、どのような取組をすることで健康課題の向上を図れるのかを模索していくことが重要です。作成したこの冊子をもとに、さらに多くの方に利用され、それが、海津の子どもたちの教育環境を整える一助となることを祈念しております。

今後ともますます、海津市学校保健会の皆さま方に、ご尽力いただけることを心よりお願い申し上げます、はじめの挨拶とさせていただきます。

令和6年2月吉日

海津市学校保健会

会長 野村 竜司

# 目 次

## I 発育状況

### (1) 身長・体重

①年齢別の平均値（海津市・全国）の比較 . . . . . 1

②市と全国との体格の差 . . . . . 2

### (2) 肥満度

①学校別比較 . . . . . 3

②学年別比較 . . . . . 4

③学校別グラフ . . . . . 5

④学年別グラフ . . . . . 7

## II 健康状況

### (1) 歯科の状況

①小学校 . . . . . 9

②中学校 . . . . . 10

③学年別う歯の状況（小・中学校） . . . . . 11

### (2) 視力の状況

①小学校 . . . . . 12

②中学校 . . . . . 13

③学年別視力の状況（小・中学校） . . . . . 14

### (3) 疾病・異常の状況等（健康診断）

①小学校 . . . . . 15

②中学校 . . . . . 19

## III 体力の状況

(1) 小学校運動能力テストの結果 . . . . . 23

(2) 中学校運動能力テストの結果 . . . . . 25

# I 発育状況

## (1) 身長・体重

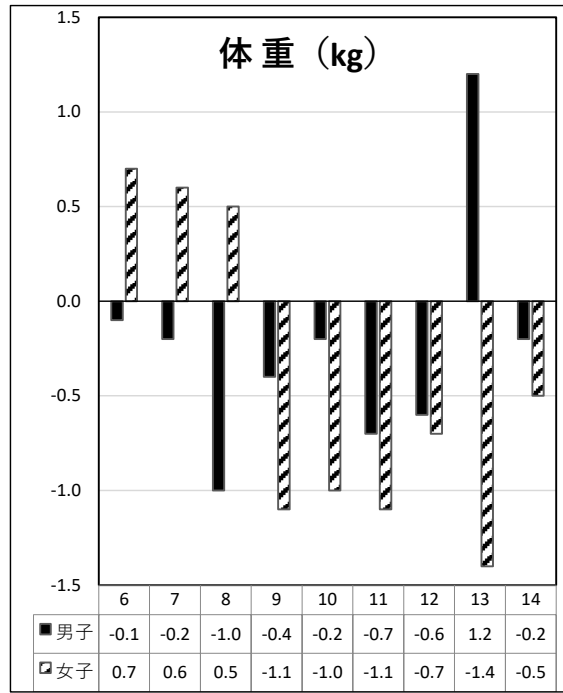
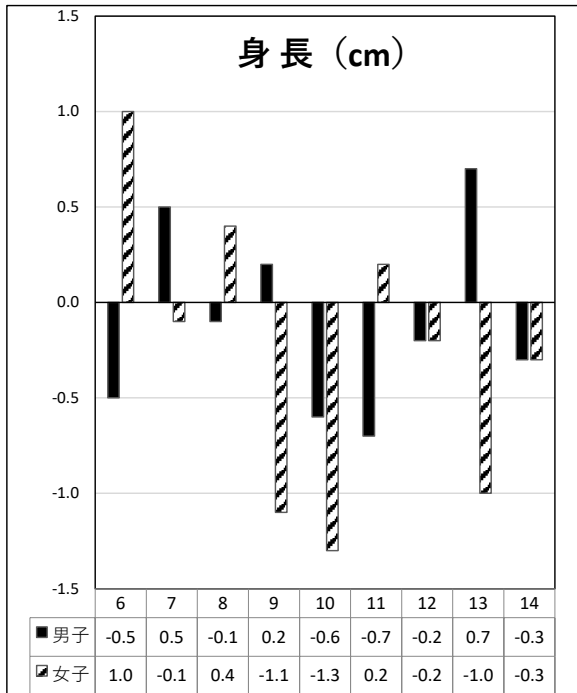
### ① 年齢別の平均値(海津市・全国)の比較

(全国平均は前年度)

	年齢	身長			体重			
		市	全国	差	市	全国	差	
男 子	小学校	6	116.5	117.0	-0.5	21.7	21.8	-0.1
		7	123.4	122.9	0.5	24.4	24.6	-0.2
		8	128.4	128.5	-0.1	27.0	28.0	-1.0
		9	134.1	133.9	0.2	31.1	31.5	-0.4
		10	139.1	139.7	-0.6	35.5	35.7	-0.2
		11	145.4	146.1	-0.7	39.3	40.0	-0.7
	中学校	12	153.8	154.0	-0.2	45.1	45.7	-0.6
		13	161.6	160.9	0.7	51.8	50.6	1.2
		14	165.5	165.8	-0.3	54.8	55.0	-0.2
女 子	小学校	6	117.0	116.0	1.0	22.0	21.3	0.7
		7	121.9	122.0	-0.1	24.6	24.0	0.6
		8	128.5	128.1	0.4	27.8	27.3	0.5
		9	133.4	134.5	-1.1	30.0	31.1	-1.1
		10	140.1	141.4	-1.3	34.5	35.5	-1.0
		11	148.1	147.9	0.2	39.4	40.5	-1.1
	中学校	12	152.0	152.2	-0.2	43.8	44.5	-0.7
		13	153.9	154.9	-1.0	46.3	47.7	-1.4
		14	156.2	156.5	-0.3	49.4	49.9	-0.5



## ②市と全国との体格の差



〈注意〉 肥満度による体格判断

栄養不良または肥満・やせ傾向は、次のような身長別標準体重をもとに肥満度を算出する。

肥満度 =  $\frac{\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}}{\text{身長別標準体重(kg)}} \times 100\%$

〈判定基準〉 +20%以上を肥満傾向、-20%以下をやせ傾向とする。

+20%以上 +30%未満: 軽度肥満  
 +30%以上 +50%未満: 中等度肥満  
 +50%以上: 高度肥満  
 -20%以下: やせ傾向  
 -30%以下: 高度やせ

### ■ 発育状況の考察 ■

・全国と比較して、全体的に小柄である。

・男子では、小学校高学年から肥満傾向が増加し、中学校になってもあまり減少していない。コロナ禍や部活動参加の任意化などによる運動量の減少が一因として考えられる。



## (2) 肥満度

### ① 学校別比較

(%)

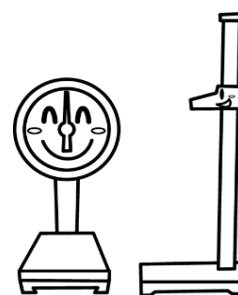
	男 子		女 子	
	やせ傾向 - 20%以下	肥満傾向 + 20%以上	やせ傾向 - 20%以下	肥満傾向 + 20%以上
高須小	3.42	11.11	2.75	8.26
吉里小	2.78	5.56	0.00	0.00
東江小	0.00	8.33	0.00	0.00
大江小	0.00	16.67	0.00	8.33
西江小	0.00	7.69	4.00	16.00
今尾小	1.11	8.89	1.41	14.08
海西小	1.54	4.62	3.45	6.90
石津小	3.23	11.29	2.61	7.83
城山小	0.83	10.00	0.83	6.67
下多度小	0.00	5.41	0.00	11.11
小学校平均	1.81	9.35	1.77	8.05
日新中	1.28	16.03	4.83	6.21
平田中	4.11	5.48	1.47	2.94
城南中	3.66	12.57	1.61	9.68
中学校平均	2.86	12.62	2.97	6.82

②学年別比較

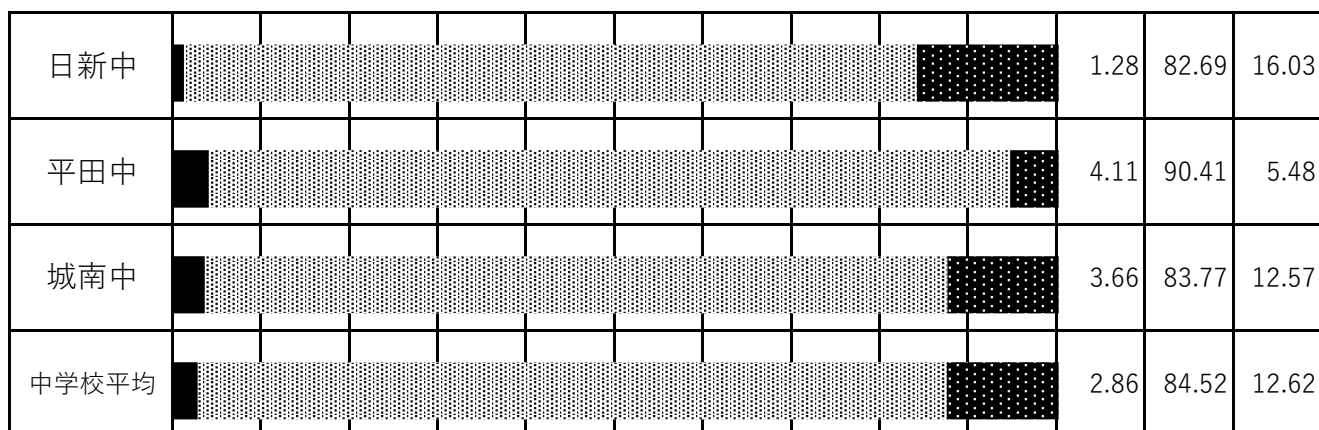
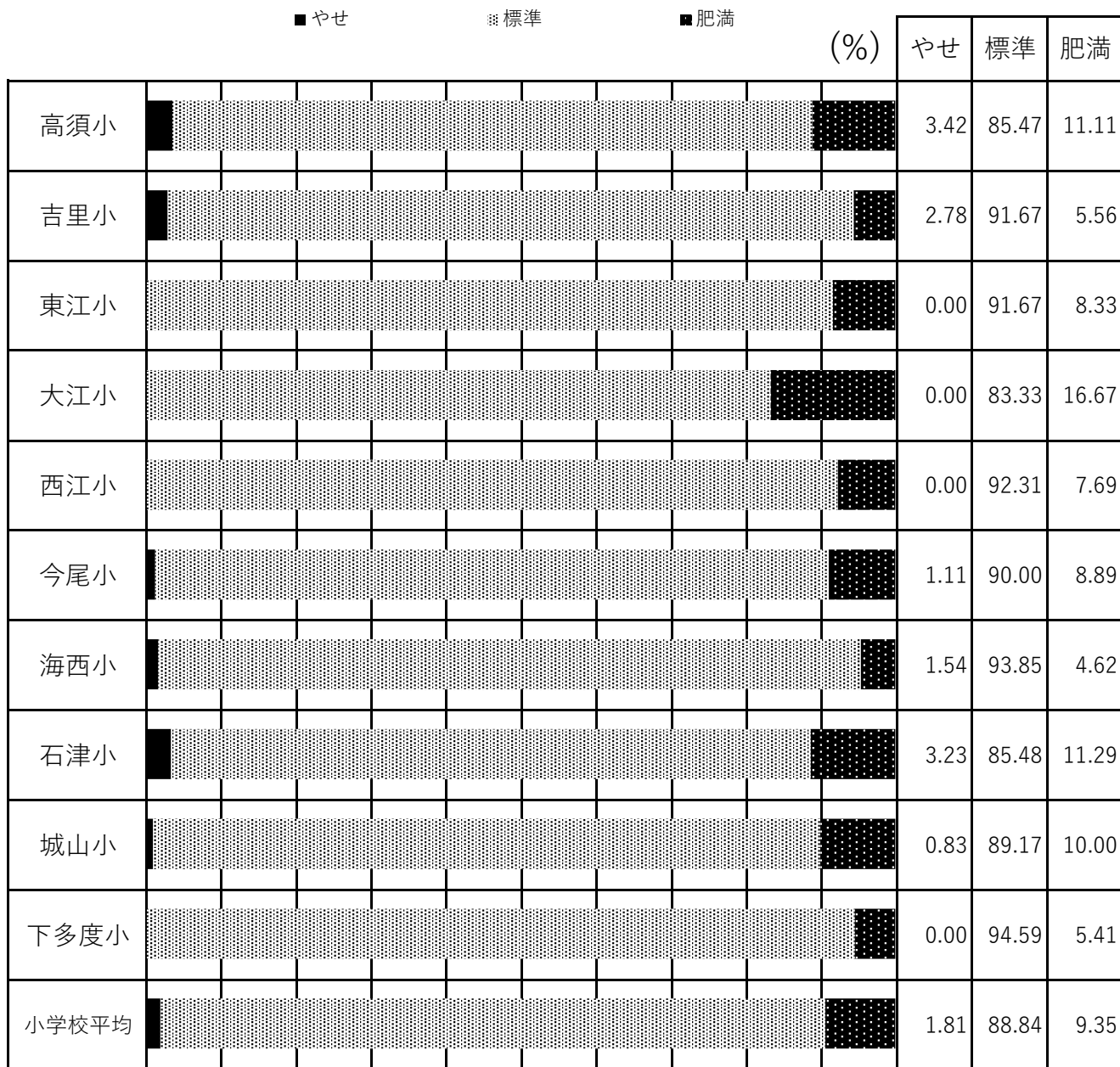
(%)

	男 子		女 子	
	やせ傾向 - 20%以下	肥満傾向 + 20%以上	やせ傾向 - 20%以下	肥満傾向 + 20%以上
小1	0.00	5.71	0.00	7.06
小2	0.00	3.64	0.00	11.46
小3	2.13	7.45	2.25	14.61
小4	0.75	7.52	2.08	6.25
小5	1.80	17.12	3.20	8.00
小6	5.45	14.55	2.08	3.08

中1	2.92	11.68	2.33	11.68
中2	2.99	13.43	2.44	8.94
中3	2.68	12.75	4.71	5.88



### ③学校別グラフ(男子)





(女子)

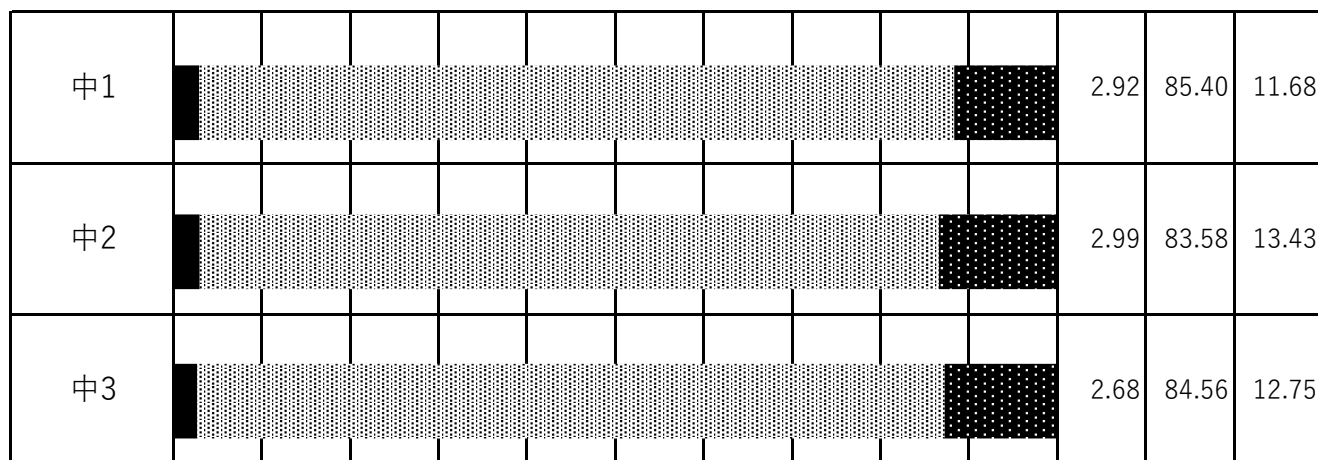
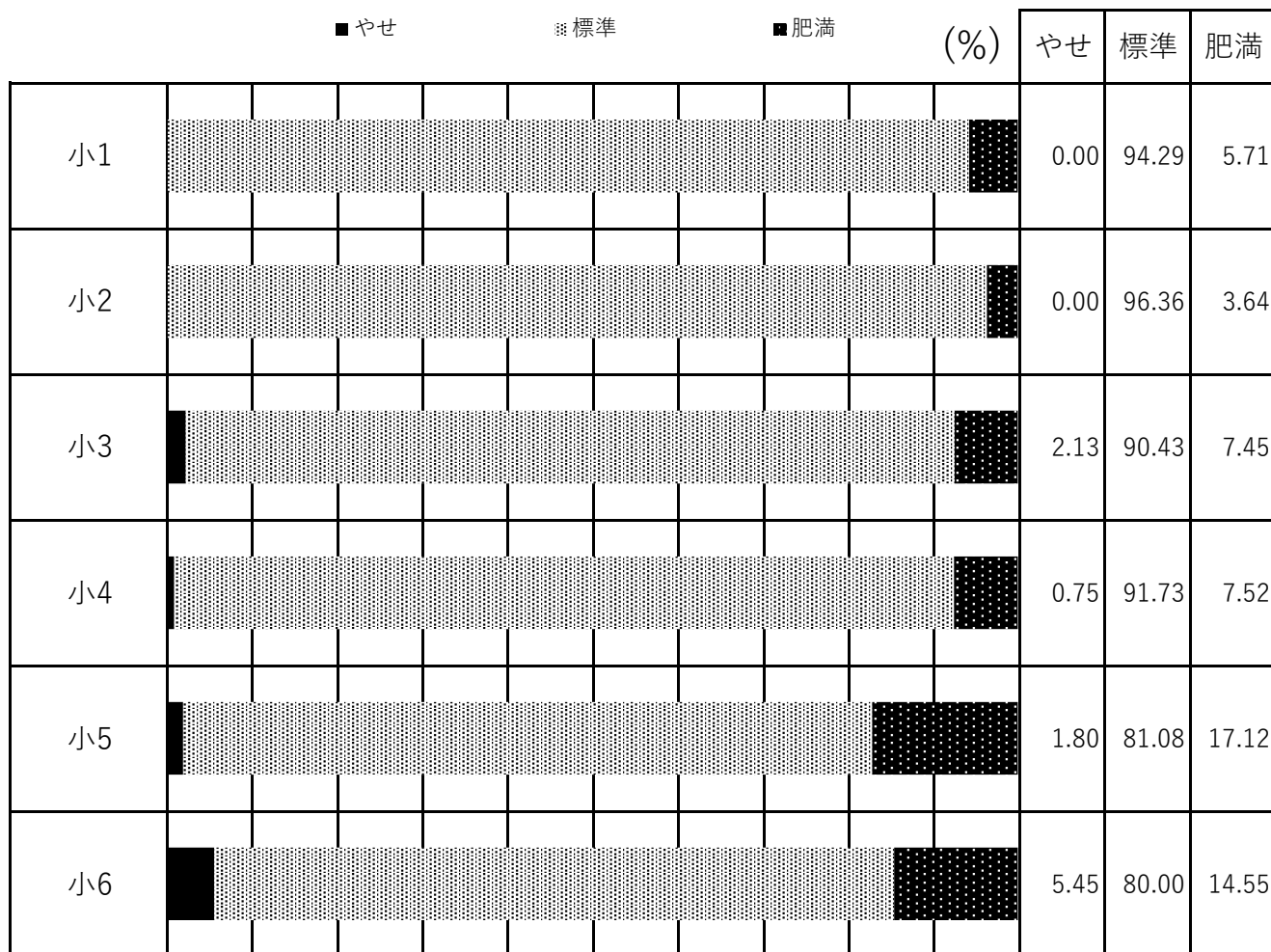
■ やせ      ■ 標準      ■ 肥満

(%)

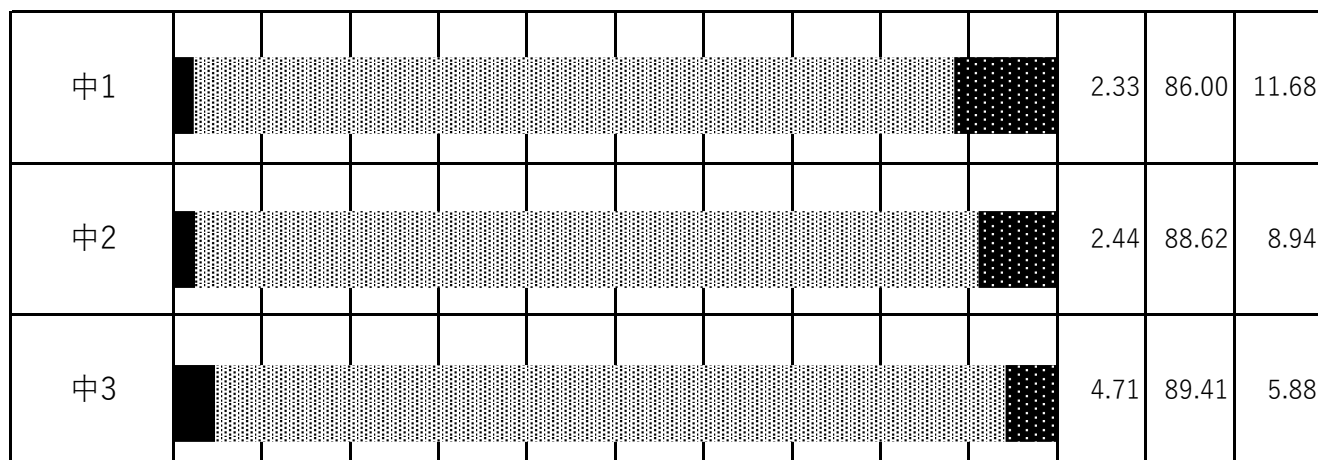
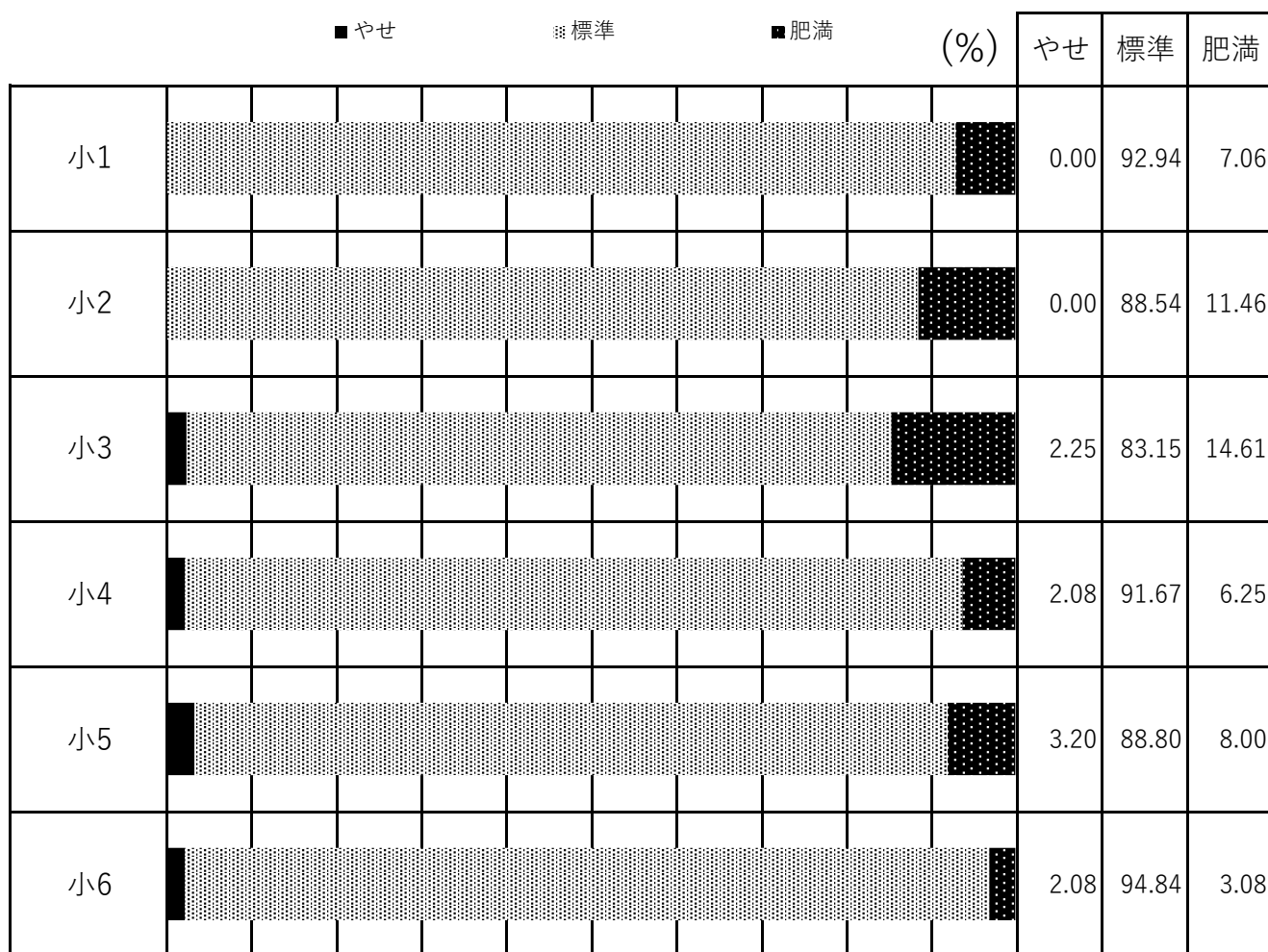
	やせ	標準	肥満
高須小	2.75	88.99	8.26
吉里小	0.00	100.00	0.00
東江小	0.00	100.00	0.00
大江小	0.00	91.67	8.33
西江小	4.00	80.00	16.00
今尾小	1.41	84.51	14.08
海西小	3.45	89.66	6.90
石津小	2.61	89.57	7.83
城山小	0.83	92.50	6.67
下多度小	0.00	100.00	0.00
小学校平均	1.77	90.18	8.05

日新中	4.83	88.97	6.21
平田中	1.47	95.59	2.94
城南中	1.61	88.71	9.68
中学校平均	2.97	90.21	6.82

#### ④学年別グラフ(男子)



(女子)



## Ⅱ 健康状況

### (1) 歯科の状況

#### ① 小学校

(男子)

(永久歯・乳歯)

(%)

	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均	前年度 全国平均
う歯所有者率	47.9	8.3	37.5	54.2	30.8	27.8	29.2	37.9	34.2	37.8	35.4	38.32
処置完了者率	24.8	8.3	25.0	20.8	15.4	11.1	13.8	17.7	14.2	18.9	16.9	20.05
未処置歯所有者率	23.1	0.0	12.5	33.3	15.4	16.7	15.4	20.2	20.0	18.9	18.6	18.27
歯列・咬合	29.1	13.9	12.5	0.0	0.0	0.0	12.3	2.4	2.5	2.7	8.6	4.43
顎関節	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.09
歯垢の状態	12.0	0.0	8.3	0.0	0.0	4.4	9.2	0.0	2.5	0.0	4.4	3.55
歯肉の状態	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.8	0.0	3.2	1.97
その他の疾病・異常	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.8	6.37

(女子)

(永久歯・乳歯)

(%)

	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均	前年度 全国平均
う歯所有者率	48.6	13.9	37.0	58.3	52.0	35.2	46.6	33.9	42.5	38.9	40.4	35.67
処置完了者率	22.0	8.3	29.6	33.3	32.0	18.3	24.1	18.3	23.3	11.1	21.1	18.56
未処置歯所有者率	26.6	5.6	7.4	25.0	20.0	16.9	22.4	15.7	19.2	27.8	19.3	17.11
歯列・咬合	36.7	13.9	14.8	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	3.3	22.2	10.5	4.84
顎関節	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.11
歯垢の状態	11.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.9	1.7	0.0	2.9	2.73
歯肉の状態	34.9	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	1.63
その他の疾病・異常	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.2	6.68

## ②中学校

(男子)

(永久歯・乳歯)

(%)

	日新中	平田中	城南中	市平均	前年度 全国平均
う歯所有者率	17.3	15.1	15.7	16.2	26.98
処置完了者率	6.4	5.5	12.6	9.0	15.64
未処置歯所有者率	10.9	9.6	3.1	7.1	11.34
歯列・咬合	21.2	2.7	1.6	9.0	5.2
顎関節	0.6	0.0	0.0	0.2	0.32
歯垢の状態	5.8	1.4	4.2	4.3	5
歯肉の状態	3.8	0.0	2.6	2.6	4.27
その他の疾病・異常	0.0	0.0	0.0	0.0	3.88
処置歯率	9.1	0.0	56.8	43.1	
未処置歯率	90.9	100.0	43.2	56.9	

※処置歯率・未処置歯率は、1年生の永久歯のう歯。

(女子)

(永久歯・乳歯)

(%)

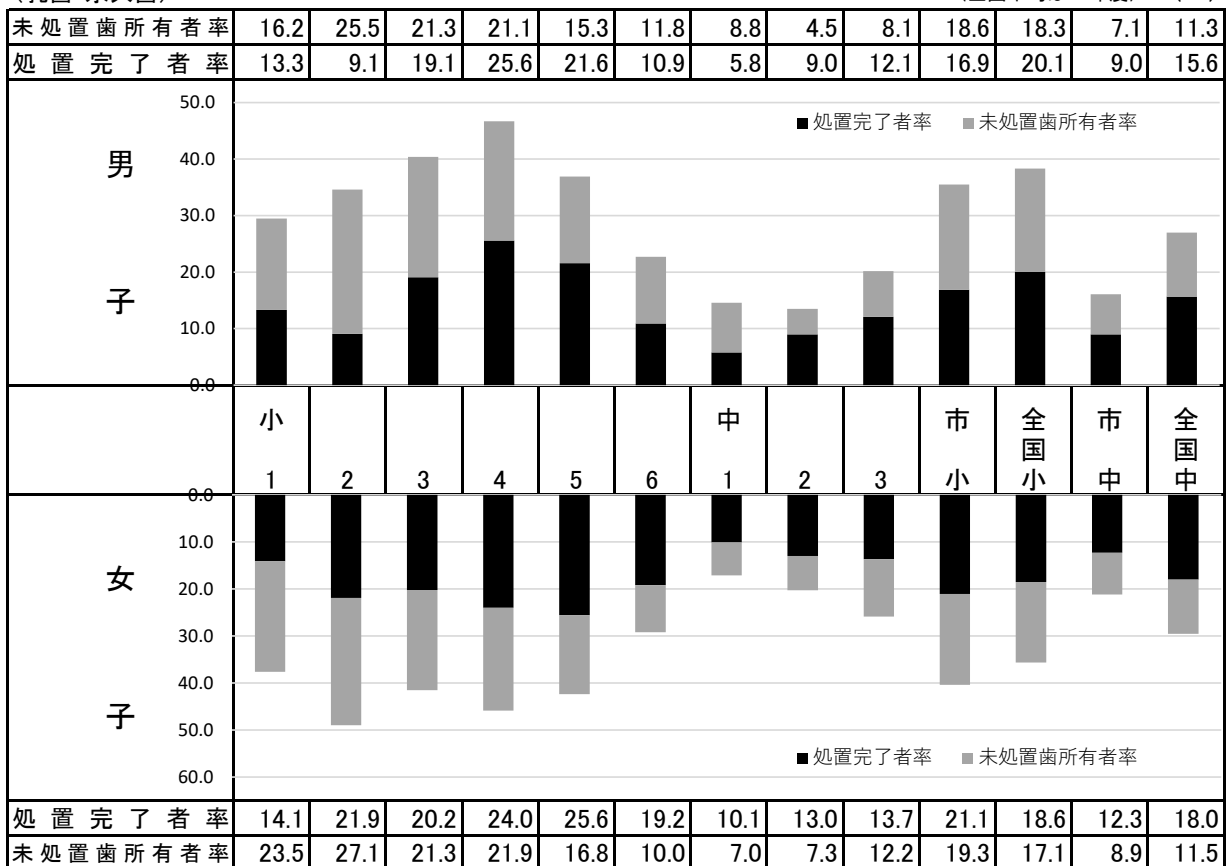
	日新中	平田中	城南中	市平均	前年度 全国平均
う歯所有者率	26.9	14.7	18.8	21.1	29.56
処置完了者率	14.5	5.9	12.9	12.3	18.02
未処置歯所有者率	12.4	8.8	5.9	8.9	11.54
歯列・咬合	17.9	0.0	0.6	7.0	5.4
顎関節	0.7	0.0	0.0	0.3	0.38
歯垢の状態	2.1	0.0	3.5	2.3	2.9
歯肉の状態	1.4	0.0	1.2	1.0	2.59
その他の疾病・異常	0.0	0.0	0.0	0.0	3.17
処置歯率	85.7	50.0	64.7	72.7	
未処置歯率	14.3	50.0	35.3	27.3	

※処置歯率・未処置歯率は、1年生の永久歯のう歯。

### ③学年別う歯の状況(小・中学校)

(乳歯・永久歯)

(全国平均はR4年度) (%)



う歯所有者率 = $\frac{\text{う歯所有者数}}{\text{検査人数}} \times 100$	処置歯率 = $\frac{\text{処置歯総数}}{\text{う歯総数}} \times 100$
処置完了者率 = $\frac{\text{処置完了者数}}{\text{検査人数}} \times 100$	未処置歯率 = $\frac{\text{未処置歯数}}{\text{う歯総数}} \times 100$
未処置歯所有者率 = $\frac{\text{未処置歯所有者数}}{\text{検査人数}} \times 100$	口腔の疾病異常 = $\frac{\text{口腔の疾病異常者数}}{\text{検査人数}} \times 100$

・口腔の疾病異常には、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

#### ■う歯の状況の考察■

- ・全国平均と比較して、小学校のう歯所有者率・処置完了者率とも同等だが、中学校では下回っている。
- ・未処置歯所有者率は、小学校では全国平均と同等だが、中学校では下回っている。
- ・歯列・咬合、顎関節などの項目においては、小中学校とも学校間の差が大きい。
- ・自分の口腔内の実態を正しく理解させ、家庭を含め歯科保健の意識が高まるよう、保健指導を充実させていく必要がある。

## (2) 視力の状況

### ① 小学校

#### (男子)

	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均		全国 前年度 平均	
											計(人)	%		
検査人数	117	36	24	24	26	90	65	124	120	37	663			
0.3未満	非矯正	0	0	0	1	0	3	3	3	3	0	13	2.0	4.41
	矯正	7	1	2	0	0	9	6	0	0	2	27	4.1	6.09
0.3以上 0.7未満	非矯正	8	2	3	1	2	6	4	7	10	1	44	6.6	10.37
	矯正	6	2	3	3	1	2	2	0	7	2	28	4.2	2.68
0.7以上 1.0未満	非矯正	16	0	3	0	0	7	8	22	18	2	76	11.5	10.59
	矯正	4	0	0	1	1	2	0	0	5	2	15	2.3	0.97
矯正視力のみ測定	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	16	2.4		
計	41	5	11	6	4	29	23	48	43	9	219	33.0	35.11	
%	35.0	13.9	45.8	25.0	15.4	32.2	35.4	38.7	35.8	24.3				

#### (女子)

	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均		全国 前年度 平均	
											計(人)	%		
検査人数	109	36	27	24	25	71	58	115	120	36	621			
0.3未満	非矯正	2	1	2	1	0	0	5	3	1	0	15	2.4	5.67
	矯正	7	0	4	2	3	8	7	0	0	2	33	5.3	7.88
0.3以上 0.7未満	非矯正	6	3	5	1	3	4	5	8	13	2	50	8.1	11.25
	矯正	2	2	0	2	2	5	3	0	10	3	29	4.7	3.54
0.7以上 1.0未満	非矯正	20	2	7	5	0	4	7	20	9	0	74	11.9	11.28
	矯正	2	0	0	3	0	2	1	0	6	0	14	2.3	1.15
矯正視力のみ測定	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	25	4.0		
計	39	8	18	14	8	23	28	56	39	7	240	38.6	40.77	
%	35.8	22.2	66.7	58.3	32.0	32.4	48.3	48.7	32.5	19.4				

②中学校  
(男子)

	日新中	平田中	城南中	市平均		全国 前年度 平均	
				計(人)	%		
検査人数	156	73	191	420			
0.3未満	非矯正	10	5	9	24	5.7	7.37
	矯正	41	13	25	79	18.8	18.00
0.3以上 0.7未満	非矯正	10	8	13	31	7.4	15.15
	矯正	3	6	10	19	4.5	5.35
0.7以上 1.0未満	非矯正	6	11	15	32	7.6	11.64
	矯正	1	2	3	6	1.4	1.35
矯正視力のみ測定	0	3	15	18	4.3		
計	71	48	90	209	49.8	58.86	
%	45.5	65.8	47.1				

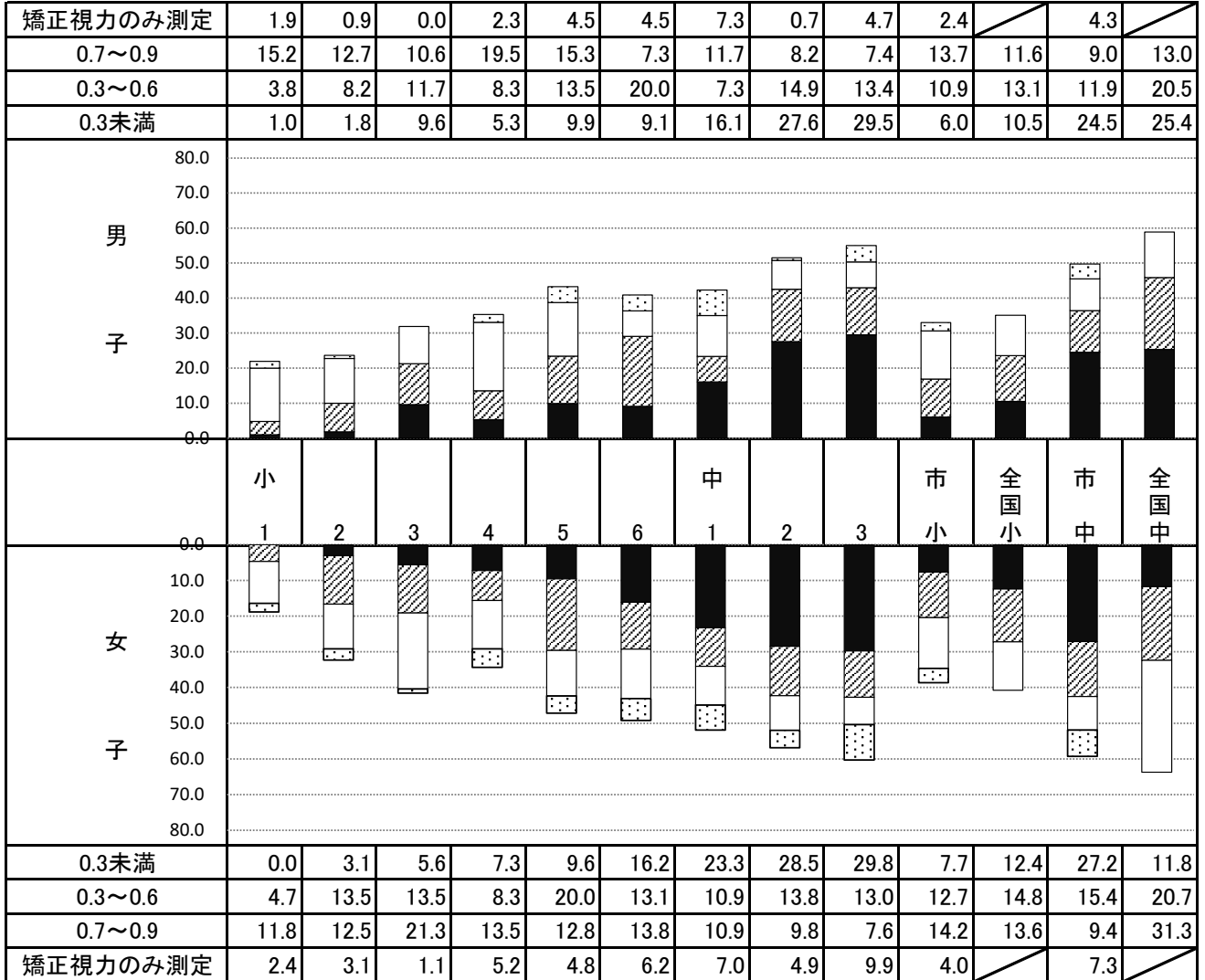
(女子)

	日新中	平田中	城南中	市平均		全国 前年度 平均	
				計(人)	%		
検査人数	145	68	170	383			
0.3未満	非矯正	9	8	2	19	5.0	6.70
	矯正	43	13	29	85	22.2	24.62
0.3以上 0.7未満	非矯正	11	12	12	35	9.1	13.42
	矯正	13	1	10	24	6.3	7.23
0.7以上 1.0未満	非矯正	7	7	19	33	8.6	10.04
	矯正	1	1	1	3	0.8	1.72
矯正視力のみ測定	0	8	20	28	7.3		
計	84	50	93	227	59.3	63.73	
%	57.9	73.5	54.7				



### ③学年別視力の状況(小・中学校)

矯正視力のみ測定
  0.7~0.9
  0.3~0.6
  0.3未満
 (全国平均は前年度)



#### ■視力の状況の考察■

- ・1. 0未満の割合を市平均と全国平均で比較すると、小学校・中学校男女すべてで下回っている。
- ・視力低下者は年々増加傾向にあるので、視力低下の早期発見と専門医への早期受診、継続指導を勧め、家庭、学校でも経過観察を続けることが大切である。
- ・学校、家庭、専門医が連携を図り、1. 0未満の児童・生徒一人一人に応じた指導・配慮はもちろんのこと、全ての児童生徒に対し、日常生活の姿勢指導などを通して、視力低下の予防を働き掛ける必要がある。

(3) 疾病・異常の状況等 (健康診断)

① 小学校

(男子)

( )内は%

		男 子										計 (人)	市 平 均 (%)	前 年 度 全 国 平 均 (%)	
		高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小				
検 査 人 員		117	36	24	24	26	90	65	124	120	37	663			
裸眼視力1.0未満		(35.0) 41	(13.9) 5	(45.8) 11	(25.0) 6	(15.4) 4	(32.2) 29	(35.4) 23	(33.9) 42	(35.8) 43	(24.3) 9	213	(32.13)	(35.10)	
眼の疾病・異常		(8.5) 10	(8.3) 3		(16.7) 4	(3.8) 1	(4.4) 4	(4.6) 3	(15.3) 19	(7.5) 9	(16.2) 6	59	(8.90)	(5.65)	
難 聴		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.43)	
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患	(6.0) 7	(11.1) 4	(4.2) 1	(4.2) 1	(7.7) 2			(4.0) 5	(6.7) 8	(10.8) 4	32	(4.83)	(6.67)	
	鼻・副鼻腔疾患	(7.7) 9	(16.7) 6		(8.3) 2	(7.7) 2	(7.8) 7	(10.8) 7	(7.3) 9	(15.0) 18	(2.7) 1	61	(9.20)	(14.08)	
	口腔咽喉頭疾患・異常		(11.1) 4									4	(0.60)	(0.79)	
歯・口腔	う 歯	処置完了者	(24.8) 29	(8.3) 3	(25.0) 6	(20.8) 5	(15.4) 4	(11.1) 10	(13.8) 9	(17.7) 22	(14.2) 17	(18.9) 7	112	(16.89)	(20.05)
		未処置歯のある者	(23.1) 27		(12.5) 3	(33.3) 8	(15.4) 4	(16.7) 15	(15.4) 10	(20.2) 25	(20.0) 24	(18.9) 7	123	(18.55)	(18.27)
	顎 関 節	(4.3) 5											5	(0.75)	(0.09)
	歯 列 ・ 咬 合	(29.1) 34	(13.9) 5	(12.5) 3				(12.3) 8	(2.4) 3	(2.5) 3	(2.7) 1	57	(8.60)	(4.43)	
	歯 垢 の 状 態	(12.0) 14		(8.3) 2				(4.4) 4	(9.2) 6	(2.5) 3		29	(4.37)	(3.55)	
	歯 肉 の 状 態	(6.8) 8						(13.3) 12		(0.8) 1		21	(3.17)	(1.97)	
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常					(3.8) 1				(3.3) 4		5	(0.75)	(6.37)	
	小 6 の DMF 歯 数	0.23	0.57	0.40	0.00	0.00	0.29	0.07	0.29	0.25	0.00		(0.23)		
栄 養	栄 養 不 良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(2.46)	
	肥 満 傾 向	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.8) 1	0	1	(0.15)		
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常		0	(2.8) 1	0	0	0	0	0	0	0	(2.7) 1	2	(0.30)	(0.83)	
皮 膚	アトピー性皮膚炎	(3.4) 4		0	0	0	(4.4) 4	(1.5) 1	(4.8) 6	(3.3) 4	(5.4) 2	21	(3.17)	(3.33)	
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患	0	0	0	(4.2) 1	(15.4) 4		(1.5) 1	(2.4) 3		(2.7) 1	10	(1.51)	(0.41)	
結 核		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.00)	
結 核 検 査	委 員 会 要 検 討	(0.9) 1		0	0	0	0	0	0	0	0	1	(0.15)		
	精 密 検 査 対 象	(0.9) 1		0	0	0	0	0	0	0	0	1	(0.15)	(0.10)	
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常		(1.7) 2	(8.3) 3		(4.2) 1	(3.8) 1	(3.3) 3		(0.8) 1			11	(1.66)	(0.80)	
心 電 図 異 常		(0.9) 1		0	(8.3) 2		(2.2) 2		(0.8) 1	(1.7) 2		8	(1.21)	(2.97)	

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

(男子の続き)

( )内は%

		男 子										計 (人)	市 平 均 ( % )	前 年 度 全 国 平 均 ( % )
		高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小			
尿検査	蛋白質検出	0	0	0	0	(3.8) 1	0	0	0	0	(2.7) 1	2	(0.30)	(0.68)
	尿糖検出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.06)
その他疾病・異常	ぜん息	(5.1) 6	0	0	(4.2) 1	0	(4.4) 4	(1.5) 1	(2.4) 3	(4.2) 5	(2.7) 1	21	(3.17)	(3.43)
	糖尿病	1型	0	0	0	0	(3.8) 1	0	0	0	0	1	(0.15)	
		2型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	
	腎性糖尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	
	腎臓疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.20)
	言語障害	(1.7) 2	0	0	0	0	(1.1) 1	0	0	0	0	3	(0.45)	(0.58)
	食物アレルギー	(2.6) 3	(8.3) 3	(8.3) 2	(4.2) 1	(11.5) 3	(10.0) 9	(3.1) 2	(12.1) 15	(6.7) 8	(8.1) 3	49	(7.39)	
	アナフィラキシー	0	0	(4.2) 1	0	0	(3.3) 3	(1.5) 1	0	0	0	5	(0.75)	
その他の疾病異常	(6.0) 7	(5.6) 2	0	0	0	(4.4) 4	0	(4.0) 5	(2.5) 3	(8.1) 3	24	(3.62)	(5.70)	
発育の評価 (成長曲線の異常)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	
学校生活管理指導表活用者	気管支ぜん息	(0.9) 1	0	0	(4.2) 1	0	(1.1) 1	(1.5) 1	0	0	0	4	(0.60)	
	アトピー性皮膚炎	(0.9) 1	0	0	0	0	0	0	(0.8) 1	0	0	2	(0.30)	
	アレルギー性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	
	食物アレルギー	(0.9) 1	0	(8.3) 2	(4.2) 1	0	(3.3) 3	(3.1) 2	(1.6) 2	(1.7) 2	0	13	(1.96)	
	アナフィラキシー	0	0	(4.2) 1	0	0	(2.2) 2	(1.5) 1	0	0	0	4	(0.60)	
	アレルギー性鼻炎	0	0	0	0	0	0	0	(1.6) 2	0	0	2	(0.30)	

## (女子)

( )は%

		女子											計 (人)	市 平 均 (%)	前 年 度 全 国 平 均 (%)
		高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小				
検 査 人 員		109	36	27	24	25	71	58	115	120	36	621			
裸眼視力1.0未満		(35.8) 39	(22.2) 8	(66.7) 18	(58.3) 14	(32.0) 8	(32.4) 23	(48.3) 28	(40.9) 47	(32.5) 39	(19.4) 7	231	(37.20)	(40.77)	
眼の疾病・異常		(1.8) 2	(2.8) 1	(3.7) 1	(12.5) 3	(8.0) 2	(8.5) 6	(5.2) 3	(12.2) 14	(15.8) 19	(5.6) 2	53	(8.53)	(4.88)	
難 聴		(0.9) 1	0	0	0	0	0	0	(1.7) 2	0	0	3	(0.48)	(0.55)	
耳鼻咽喉頭	耳 疾 患	(5.5) 6	(8.3) 3	(7.4) 2	(4.2) 1	0	0	(3.4) 2	(6.1) 7	(4.2) 5	(2.8) 1	27	(4.35)	(6.52)	
	鼻・副鼻腔疾患	(3.7) 4	(8.3) 3	0	(8.3) 2	0	(5.6) 4	(6.9) 4	(8.7) 10	(5.8) 7	0	34	(5.48)	(8.68)	
	口腔咽喉頭疾患・異常	(5.6) 0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	(0.32)	(0.64)	
歯・口腔	う 歯	処置完了者	(22.0) 24	(8.3) 3	(29.6) 8	(33.3) 8	(32.0) 8	(18.3) 13	(24.1) 14	(18.3) 21	(23.3) 28	(11.1) 4	131	(21.10)	(18.56)
		未処置のある者	(26.6) 29	(5.6) 2	(7.4) 2	(25.0) 6	(20.0) 5	(16.9) 12	(22.4) 13	(15.7) 18	(19.2) 23	(27.8) 10	120	(19.32)	(17.11)
	顎 関 節	(0.9) 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	(0.16)	(0.11)	
	歯 列 ・ 咬 合	(36.7) 40	(13.9) 5	(14.8) 4	0	0	0	(6.9) 4	0	(3.3) 4	(22.2) 8	65	(10.47)	(4.84)	
	歯 垢 の 状 態	(11.9) 13	0	0	0	0	(2.8) 2	0	(0.9) 1	(1.7) 2	0	18	(2.90)	(2.73)	
	歯 肉 の 状 態	(34.9) 38	0	0	0	0	(8.5) 6	0	0	0	0	44	(7.09)	(1.63)	
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(2.8) 1	1	(0.16)	(6.68)	
	小 6 の DMF 歯 の 数	0.24	1.00	0.43	0.67	0.14	0.20	2.00	0.31	0.32	1.33		(0.51)		
栄 養	栄 養 不 良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(1.66)	
	肥 満 傾 向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)		
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常		0	0	0	0	0	0	(1.7) 1	0	0	0	1	(0.16)	(0.85)	
皮 膚	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	(4.6) 5	(2.8) 1	0	(4.2) 1	(4.0) 1	(7.0) 5	(3.4) 2	(7.0) 8	(1.7) 2	(11.1) 4	29	(4.67)	(2.95)	
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.37)	
結 核		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.00)	
結 核 検 査	委 員 会 要 検 討	0	(2.8) 1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	(0.16)		
	精 密 検 査 対 象	0	(2.8) 1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	(0.16)	(0.10)	
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常		0	0	0	0	0	0	(1.7) 1	(1.7) 2	0	(13.9) 5	8	(1.29)	(0.79)	
心 電 図 異 常		0	0	0	0	0	(1.4) 1	(1.7) 1	0	0	(5.6) 2	4	(0.64)	(2.11)	

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

(女子の続き)

( )内は%

		女子										計 (人)	市平均 (%)	前年度 全国平均 (%)
		高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小			
尿検査	蛋白検出	0	0	0	0	0	0	0	(2.6) 3	0	0	3	(0.48)	(1.30)
	尿糖検出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.09)
その他疾病・異常	ぜん息	(7.3) 8	0	0	0	(4.0) 1	(4.2) 3	(1.7) 1	(3.5) 4	(2.5) 3	(5.6) 2	22	(3.54)	(2.23)
	糖尿病	1型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	/
		2型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	/
	腎性糖尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	/
	腎臓疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.23)
	言語障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.31)
	食物アレルギー	(5.5) 6	(8.3) 3	0	0	(12.0) 3	(8.5) 6	(8.6) 5	(7.0) 8	(1.7) 2	(11.1) 4	37	(5.96)	/
	アナフィラキシー	0	0	0	0	(4.0) 1	(4.2) 3	0	(1.7) 2	0	0	6	(0.97)	/
その他の疾病異常	(1.8) 2	(2.8) 1	0	(4.2) 1	(8.0) 2	(2.8) 2	0	(5.2) 6	(3.3) 4	(2.8) 1	19	(3.06)	(3.78)	
発育の評価 (成長曲線の異常)		0	0	0	0	0	(1.4) 1	0	0	0	0	1	(0.16)	/
学校生活管理指導表活用者	気管支ぜん息	0	0	0	0	(4.0) 1	(1.4) 1	(1.7) 1	0	0	0	3	(0.48)	/
	アトピー性皮膚炎	0	(2.8) 1	0	0	(4.0) 1	0	(1.7) 1	(0.9) 1	0	0	4	(0.64)	/
	アレルギー性結膜炎	0	0	0	0	0	(1.4) 1	0	(0.9) 1	0	0	2	(0.32)	/
	食物アレルギー	(1.8) 2	(2.8) 1	0	0	(8.0) 2	(4.2) 3	(8.6) 5	(1.7) 2	(1.7) 2	(2.8) 1	18	(2.90)	/
	アナフィラキシー	0	0	0	0	(4.0) 1	(4.2) 3	0	(0.9) 1	0	0	5	(0.81)	/
アレルギー性鼻炎	0	(5.6) 2	0	0	0	(1.4) 1	0	(0.9) 1	0	0	4	(0.64)	/	

②中学校  
(男子)

( )内は%

		男 子					市 平 均 ( % )	前 年 度 全 国 平 均 ( % )
		日 新 中	平 田 中	城 南 中	計			
検 査 人 員		156	73	191	420			
裸 眼 視 力 1.0 未 満		(45.5) 71	(65.8) 48	(40.8) 78	197	(46.90)	(58.86)	
眼 の 疾 病 ・ 異 常		(4.5) 7	(4.1) 3	(7.3) 14	24	(5.71)	(5.57)	
難 聴		0	0	0	0	(0.00)	(0.31)	
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患	(2.6) 4	(4.1) 3	(3.7) 7	14	(3.33)	(5.50)	
	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	(9.6) 15	(9.6) 7	(8.9) 17	39	(9.29)	(12.39)	
	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常	0	(11.0) 8	0	8	(1.90)	(0.38)	
歯 ・ 口 腔	う 歯	処 置 完 了 者	(6.4) 10	(5.5) 4	(12.6) 24	38	(9.05)	(15.64)
		未 処 置 歯 の あ る 者	(10.9) 17	(9.6) 7	(3.1) 6	30	(7.14)	(11.34)
	顎 関 節	(0.6) 1	0	0	1	(0.24)	(0.32)	
	歯 列 ・ 咬 合	(21.2) 33	(2.7) 2	(1.6) 3	38	(9.05)	(5.20)	
	歯 垢 の 状 態	(5.8) 9	(1.4) 1	(4.2) 8	18	(4.29)	(5.00)	
	歯 肉 の 状 態	(3.8) 6	0	(2.6) 5	11	(2.62)	(4.27)	
	そ の 他 の 異 常 疾 病 ・ 異 常	0	0	0	0	(0.00)	(3.88)	
	中 DMF 1 歯 の 数	0.21	0.64	0.63		(0.49)		
栄 養	栄 養 不 良	0	0	0	0	(0.00)	(1.75)	
	肥 満 傾 向	0	0	0	0	(0.00)		
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常		0	(1.4) 1	(1.0) 2	3	(0.71)	(1.32)	
皮 膚	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	(0.6) 1	(6.8) 5	(2.6) 5	11	(2.62)	(3.11)	
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患	0	0	0	0	(0.00)	(0.25)	
結 核		0	0	0	0	(0.00)	(0.00)	
結 核 検 査 診	委 員 会 要 検 討	(1.3) 2	0	0	2	(0.48)		
	精 密 検 査 対 象	(1.3) 2	0	0	2	(0.48)	(0.05)	
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常		(3.8) 6	(1.4) 1	0	7	(1.67)	(0.90)	
心 電 図 異 常		(1.9) 3	(1.4) 1	0	4	(0.95)	(3.51)	

\*歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

(男子の続き)

( )内は%

		男 子					市 平 均 ( % )	前 年 度 全 国 平 均 ( % )
		日 新 中	平 田 中	城 南 中	計			
尿 検 査	蛋 白 検 出	(1.3) 2	(2.7) 2	(0.5) 1	5	(1.19)	(3.31)	
	尿 糖 検 出	0	0	(1.0) 2	2	(0.48)	(0.15)	
そ の 他 疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息	(1.3) 2	(4.1) 3	(1.6) 3	8	(1.90)	(2.60)	
	糖 尿 病	1 型	0	0	0	0	(0.00)	
		2 型	0	0	0	0	(0.00)	
	腎 性 糖 尿	0	0	0	0	(0.00)		
	腎 臓 疾 患	0	0	0	0	(0.00)	(0.25)	
	言 語 障 害	(1.3) 2	0	0	2	(0.48)	(0.12)	
	食 物 ア レ ル ギ ー	(8.3) 13	(17.8) 13	(11.5) 22	48	(11.43)		
	ア ナ フ ィ ラ キ シ ー	(0.6) 1	0	(1.6) 3	4	(0.95)		
	そ の 他 の 疾 病 常 異	(1.9) 3	(5.5) 4	(5.8) 11	18	(4.29)	(5.29)	
発 育 の 評 価 ( 成 長 曲 線 の 異 常 )	0	0	0	0	(0.00)			
学 校 生 活 管 理 指 導 表 活 用 者	気 管 支 ぜ ん 息	0	(2.7) 2	(1.0) 2	4	(0.95)		
	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	0	(1.4) 1	(0.5) 1	2	(0.48)		
	ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎	0	(1.4) 1	(0.5) 1	2	(0.48)		
	食 物 ア レ ル ギ ー	(1.3) 2	(6.8) 5	(4.2) 8	15	(3.57)		
	ア ナ フ ィ ラ キ シ ー	(0.6) 1	0	0	1	(0.24)		
	ア レ ル ギ ー 性 鼻 炎	0	(1.4) 1	(0.5) 1	2	(0.48)		

## (女子)

( )内は%

		女 子					市 平 均 ( % )	前 年 度 全 国 平 均 ( % )
		日 新 中	平 田 中	城 南 中	計			
検 査 人 員		145	68	170	383			
裸 眼 視 力 1.0 未 満		(57.9) 84	(70.6) 48	(44.7) 76	208	(54.31)	(63.75)	
眼 の 疾 病 ・ 異 常		(3.4) 5	(2.9) 2	(0.6) 1	8	(2.09)	(4.29)	
難 聴		0	0	0	0	(0.00)	(0.36)	
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患	(7.6) 11	(1.5) 1	(2.9) 5	17	(4.44)	(3.99)	
	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	(4.1) 6	(7.4) 5	(7.6) 13	24	(6.27)	(8.94)	
	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常	0	(2.9) 2	0	2	(0.52)	(0.31)	
歯 ・ 口 腔	う 歯	処 置 完 了 者	(14.5) 21	(5.9) 4	(12.9) 22	47	(12.27)	(18.02)
		未 処 置 者 の あ る 者	(12.4) 18	(8.8) 6	(5.9) 10	34	(8.88)	(11.54)
	顎 関 節	(0.7) 1	0	0	1	(0.26)	(0.38)	
	歯 列 ・ 咬 合	(17.9) 26	0	(0.6) 1	27	(7.05)	(5.40)	
	歯 垢 の 状 態	(2.1) 3	0	(3.5) 6	9	(2.35)	(2.90)	
	歯 肉 の 状 態	(1.4) 2	0	(1.2) 2	4	(1.04)	(2.59)	
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常	0	0	0	0	(0.00)	(3.17)	
	中 DMF 1 の 歯 の 数	0.27	0.29	0.33		(0.28)		
栄 養	栄 養 不 良	0	0	0	0	(0.00)	(1.07)	
	肥 満 傾 向	0	0	0	0	(0.00)		
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常		(4.1) 6	0	0	6	(1.57)	(1.77)	
皮 膚	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	(1.4) 2	(1.5) 1	(1.2) 2	5	(1.31)	(2.81)	
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患	0	0	0	0	(0.00)	(0.24)	
結 核		0	0	0	0	(0.00)	(0.00)	
結 核 検 診	委 員 会 要 検 討	0	0	0	0	(0.00)		
	精 密 検 査 対 象	0	0	0	0	(0.00)	(0.04)	
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常		(0.7) 1	(2.9) 2	(1.2) 2	5	(1.31)	(0.80)	
心 電 図 異 常		0	(1.5) 1	(0.6) 1	2	(0.52)	(2.77)	

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。



(女子の続き)

( )内は%

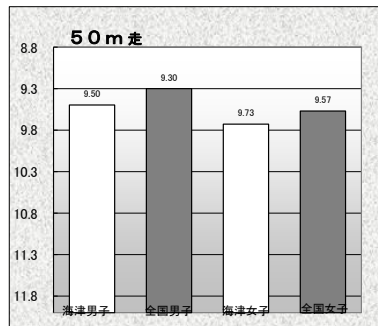
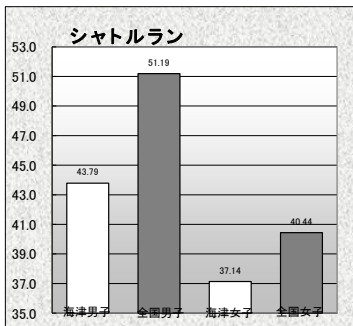
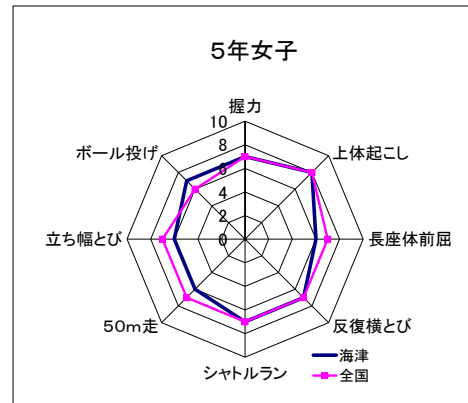
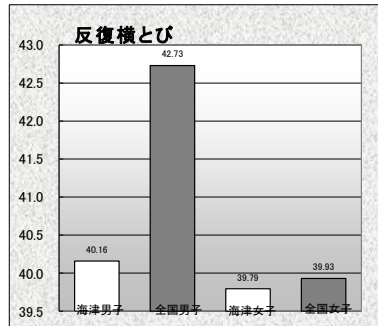
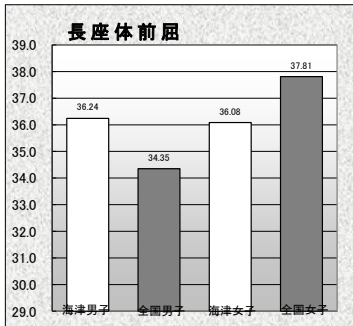
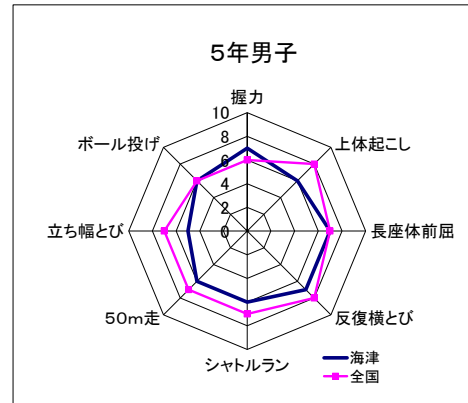
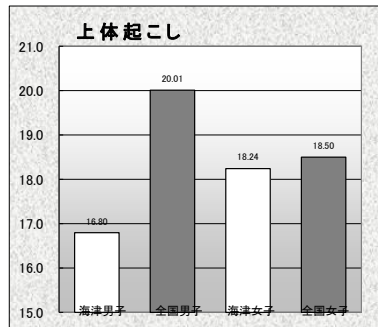
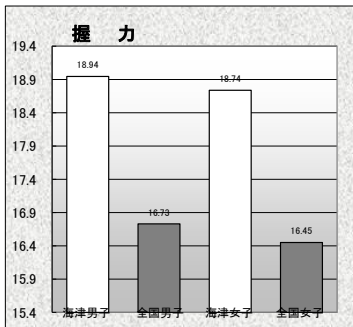
		女 子					市 平 均 ( % )	前 年 度 全 国 平 均 ( % )
		日 新 中	平 田 中	城 南 中	計			
尿 検 査	蛋 白 検 出	(5.5) 8	0	0	8	(2.09)	(2.48)	
	尿 糖 検 出	(0.7) 1	0	0	1	(0.26)	(0.18)	
そ の 他 疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息	(3.4) 5	(1.5) 1	(1.2) 2	8	(2.09)	(1.83)	
	糖 尿 病	1 型	0	0	0	0	(0.00)	
		2 型	(0.7) 1	0	0	1	(0.26)	
	腎 性 糖 尿	0	0	0	0	(0.00)		
	腎 臓 疾 患	0	0	0	0	(0.00)	(0.23)	
	言 語 障 害	0	0	0	0	(0.00)	(0.06)	
	食 物 ア レ ル ギ ー	(9.0) 13	(7.4) 5	(7.1) 12	30	(7.83)		
	ア ナ フ ィ ラ キ シ ー	0	0	0	0	(0.00)		
	そ の 他 の 疾 病 常 異	(5.5) 8	(1.5) 1	(2.9) 5	14	(3.66)	(4.35)	
発 育 の 評 価 ( 成 長 曲 線 の 異 常 )		0	0	0	0	(0.00)		
学 校 生 活 管 理 指 導 表 活 用 者	気 管 支 ぜ ん 息	0	0	(0.6) 1	1	(0.26)		
	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	0	0	(0.6) 1	1	(0.26)		
	ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎	0	0	(0.6) 1	1	(0.26)		
	食 物 ア レ ル ギ ー	(0.7) 1	(1.5) 1	(1.8) 3	5	(1.31)		
	ア ナ フ ィ ラ キ シ ー	0	0	0	0	(0.00)		
	ア レ ル ギ ー 性 鼻 炎	0	0	(1.2) 2	2	(0.52)		

### Ⅲ. 体力の状況

#### (1) 小学校運動能力テストの結果

各種目別平均・全国との比較

令和5年度 5	男子				女子			
	海津		全国		海津		全国	
テスト項目	平均	得点	平均	得点	平均	得点	平均	得点
握力 (kg)	18.94	7	16.73	6	18.74	7	16.45	7
上体起こし (cm)	16.80	6	20.01	8	18.24	8	18.50	8
長座体前屈 (cm)	36.24	7	34.35	7	36.08	6	37.81	7
反復横とび (回)	40.16	7	42.73	8	39.79	7	39.93	7
シャトルラン (回)	43.79	6	51.19	7	37.14	7	40.44	7
50m 走 (秒)	9.50	6	9.30	7	9.73	6	9.57	7
立ち幅とび (cm)	139.07	5	156.04	7	142.02	6	148.68	7
ボール投げ (m)	21.80	6	21.88	6	14.24	7	13.42	6



〈結果〉

〈5年生：男子〉

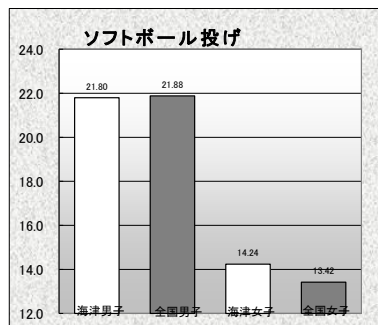
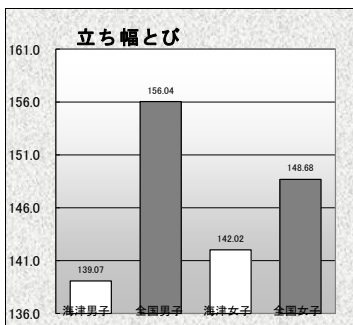
- ・握力(筋力)では、海津市18.94kg、全校平均値は16.73kgで海津市が上回っている。
- ・上体起こし(筋持久力)では、海津市16.80cm、全校平均値は20.01cmで3cmほどの差があり、得点は2ポイント下回る。
- ・立ち幅とび(跳躍力)では海津市139cm、全国平均値は156cmで、17cmの差があり、得点は2ポイント下回る。

〈5年生：女子〉

- ・握力(筋力)では、海津市18.74kg、全校平均値は16.45kgで海津市と得点は変わらないが上回っている。
- ・立ち幅とび(跳躍力)では海津市142.02cm、全国平均値は148.68cmで、7cmほどの差があり、得点は下回る。
- ・ボール投げ(巧緻性・瞬発力)では海津市14.24m、全国平均値13.42mで海津市が上回っている。
- ・長座体前屈(柔軟性)では海津市36.08cm、全国平均値37.81cmで、2cmほどの差があり得点が下回る。

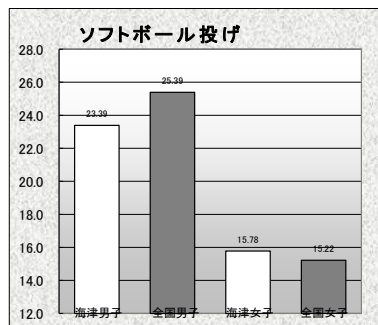
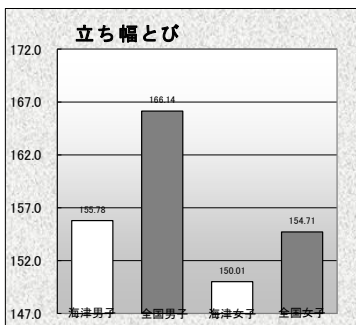
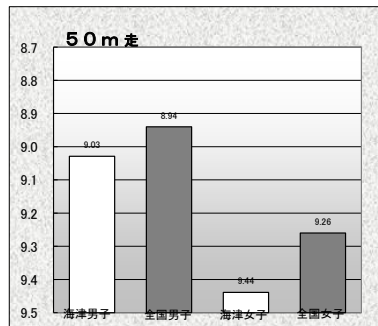
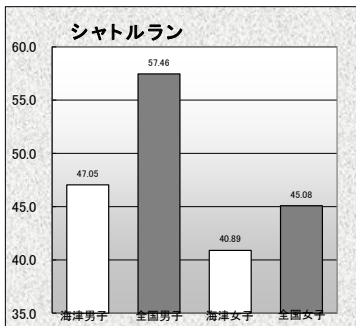
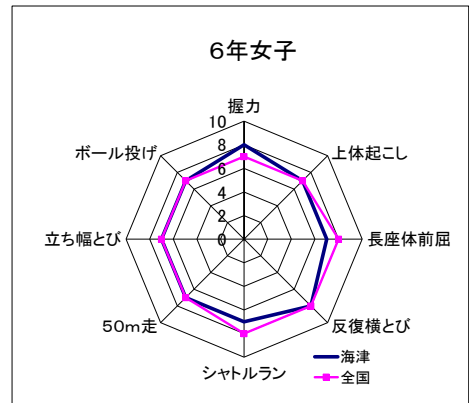
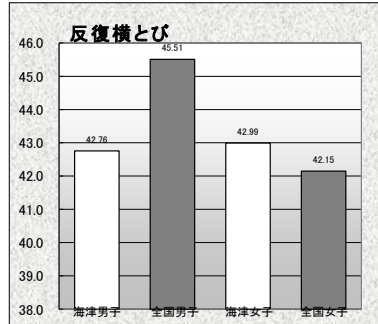
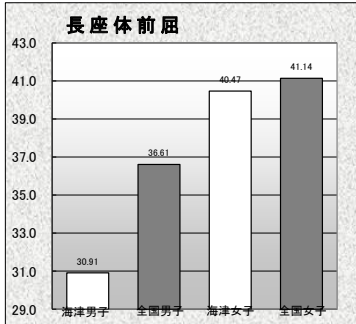
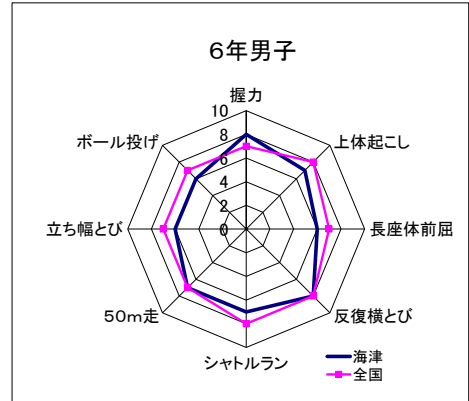
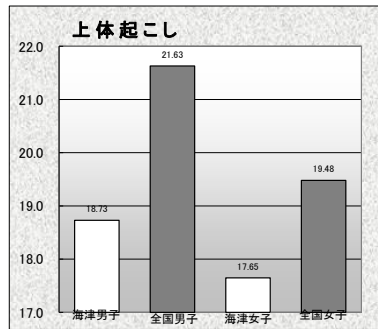
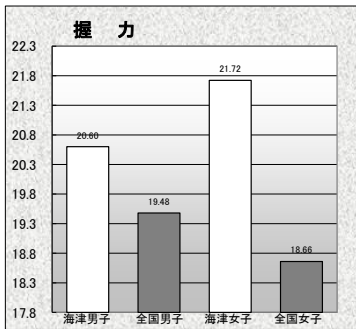
〈考察〉

- ・男女とも立ち幅とびは、瞬発力に弱さがあるため、準備運動にジャンプやスタートダッシュの練習を取り入れ、1回1回の動作を意識させて取り組ませるようにしたい。
- ・柔軟性は女子が低い傾向にある。体を柔らかくすることは怪我の防止にも役立つため、ストレッチを効果的に取り入れていきたい。



### 各種目別平均・全国との比較

令和5年度 6	男子				女子			
	海津		全国		海津		全国	
	平均	得点	平均	得点	平均	得点	平均	得点
握力 (kg)	20.60	8	19.48	7	21.72	8	18.66	7
上体起こし (cm)	18.73	7	21.63	8	17.65	7	19.48	7
長座体前屈 (cm)	30.91	6	36.61	7	40.47	7	41.14	8
反復横とび (回)	42.76	8	45.51	8	42.99	8	42.15	8
シャトルラン (回)	47.05	7	57.46	8	40.89	7	45.08	8
50m走 (秒)	9.03	7	8.94	7	9.44	7	9.26	7
立ち幅とび (cm)	155.78	6	166.14	7	150.01	7	154.71	7
ボール投げ (m)	23.39	6	25.39	7	15.78	7	15.22	7



〈結果〉

＜6年生:男子＞

- ・握力(筋力)では、海津市20.60kg、全校平均値は19.48kgで海津市が上回っている。
- ・シャトルラン(全身持久力)では、海津市47.05回、全国平均値57.46回で10回ほどの差があり得点も下回る。
- ・立ち幅跳び(瞬発力)では海津市155cm、全国平均値166cmで、11cmの差がある。
- ・ボール投げ(巧緻性・瞬発力)では海津市23.39m、全国平均値25.39で2mの差があり得点も下回る。
- ・長座体前屈(柔軟性)では海津市30.91cm、全国平均値36.61cmで、6cmほどの差があり得点も下回る。

＜6年生:女子＞

- ・握力(筋力)では、海津市21.72、全校平均値は18.66で海津市が上回っている。
- ・シャトルラン(全身持久力)では、海津市36.95回、全国平均値45.08回で9回ほどの差があり特典が下回る。
- ・長座体前屈(柔軟性)では海津市40.47cm、全国平均値41.14cmで、2cmほどの差があり得点が下回る。

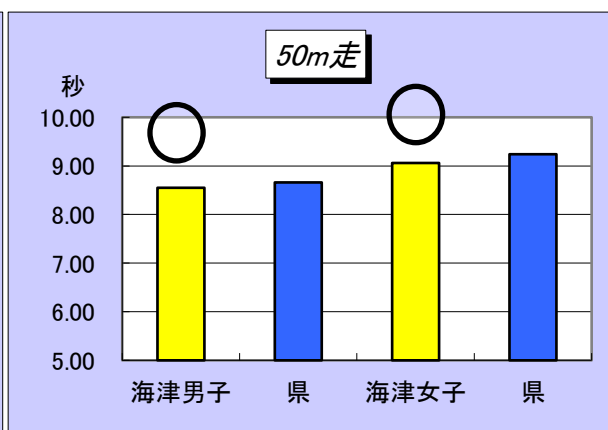
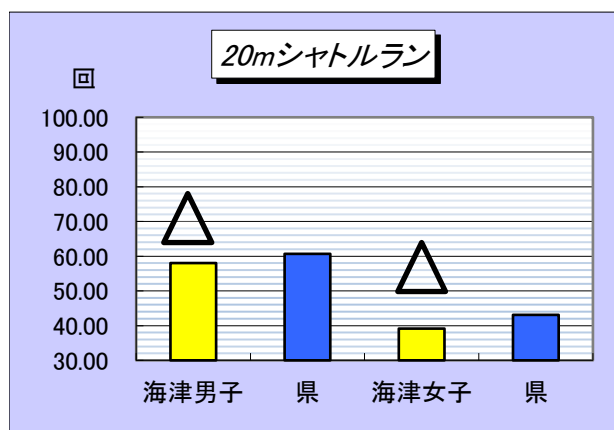
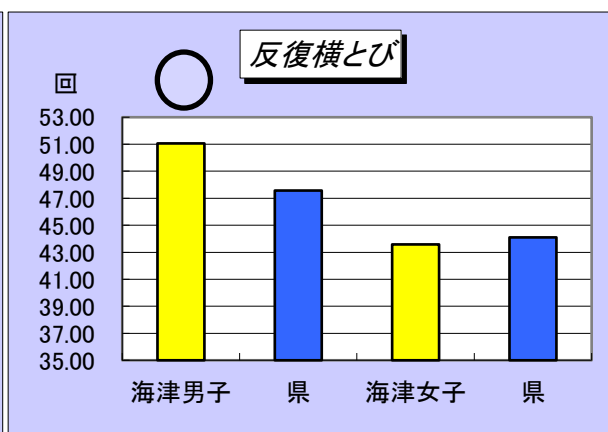
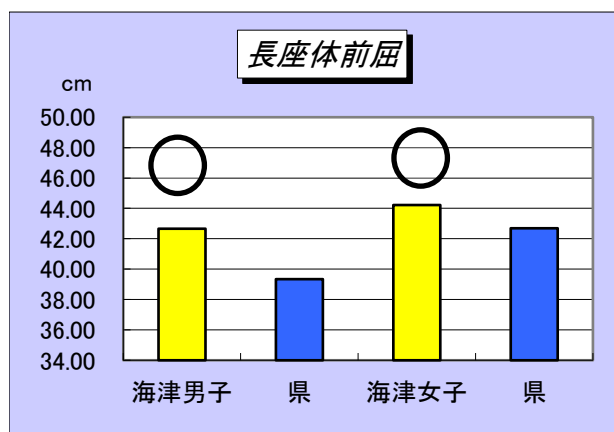
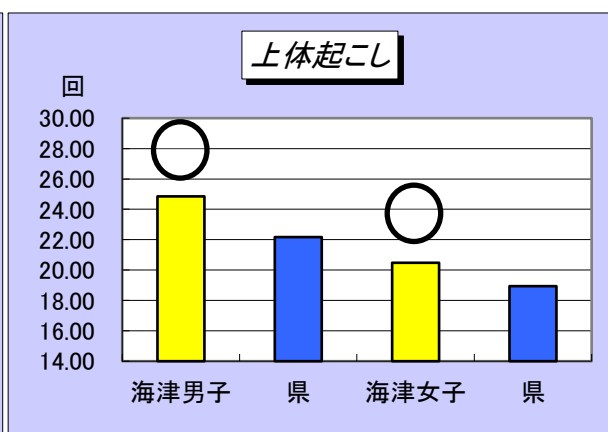
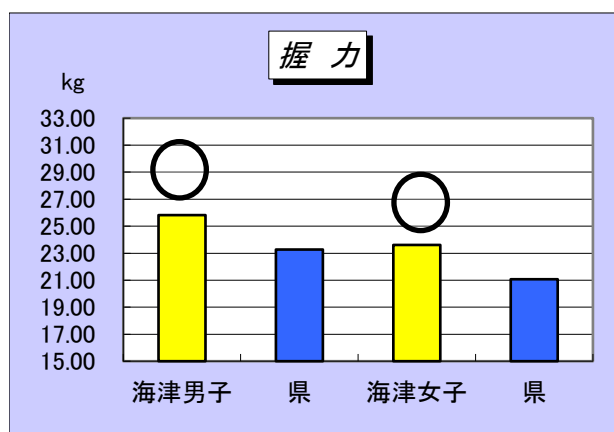
〈考察〉

- ・ボール投げ(巧緻性)は男子に低い傾向がある。指先や体を思うように動かす力が培われていけば、さまざまな活動において技術を習得しやすくなる。準備運動では、ボールキャッチ運動を継続的に取り入れる工夫を行い改善を図りたい。
- ・全身持久力に弱さがある。日々の遊びや体育授業の中で意図的に鬼ごっこを取り入れ、持久力を高められるようにしたい。

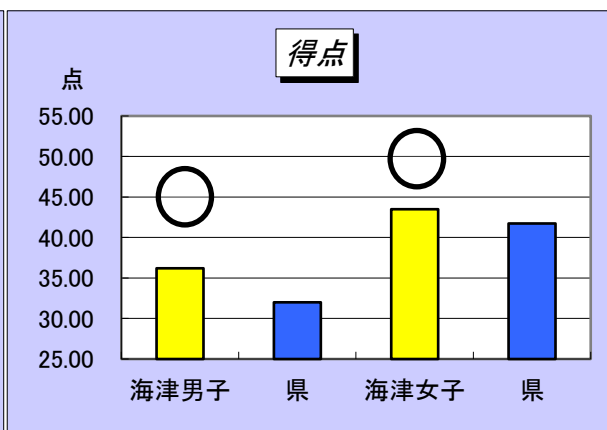
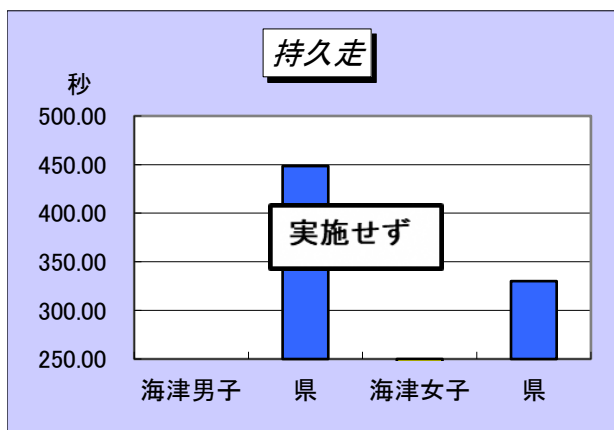
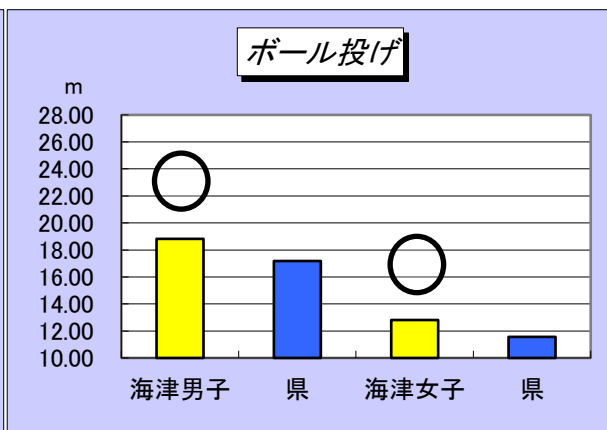
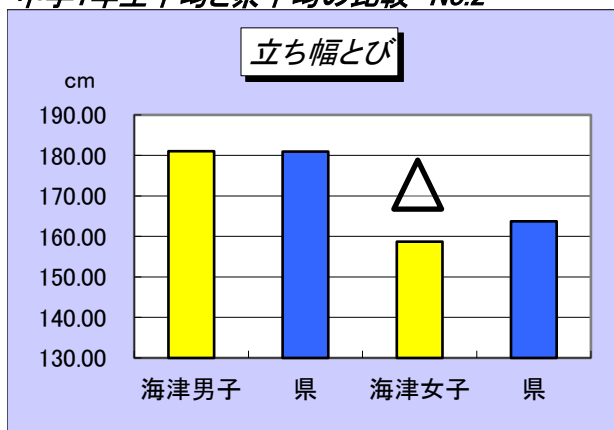
## (2) 中学校運動能力テストの結果

中学1年生平均と県平均の比較 No.1

令和5年度 1年生	男子		女子	
	海津 平均	県 平均	海津 平均	県 平均
種目				
握力	25.82	23.27	23.61	21.07
上体起こし	24.85	22.17	20.48	18.94
長座体前屈	42.66	39.34	44.22	42.69
反復横とび	51.06	47.57	43.58	44.1
20mシャトルラン	58.02	60.67	39.14	43.1
50m走	8.55	8.66	9.06	9.24
立ち幅とび	181.04	180.95	158.71	163.73
ボール投げ	18.82	17.18	12.81	11.56
持久走		448.48		330.12
得点合計	36.20	32	43.49	41.73



中学1年生平均と県平均の比較 No.2



<考察(1年生)>

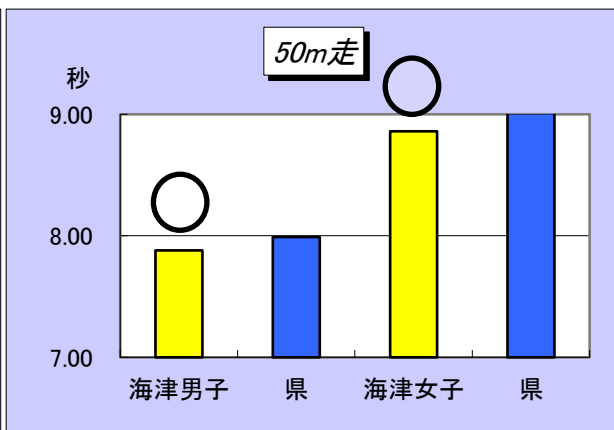
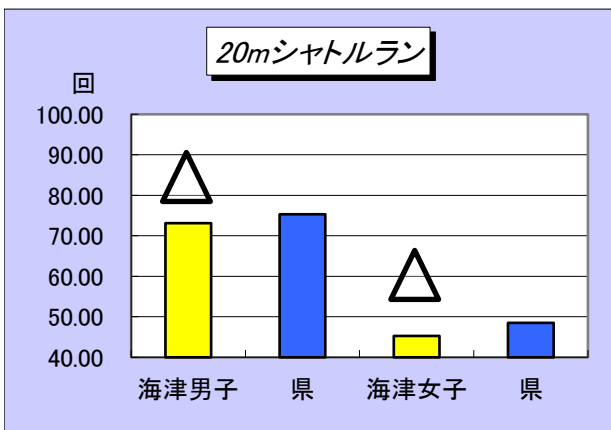
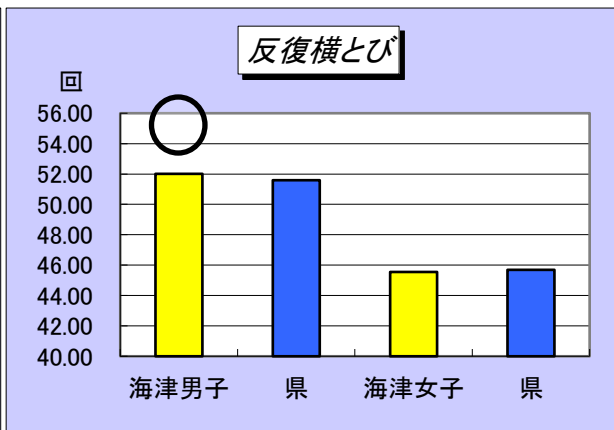
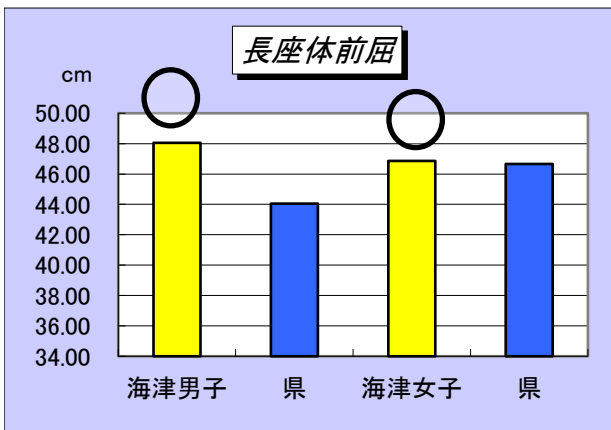
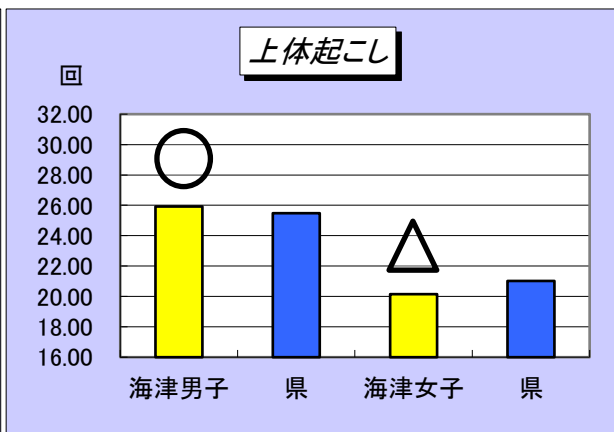
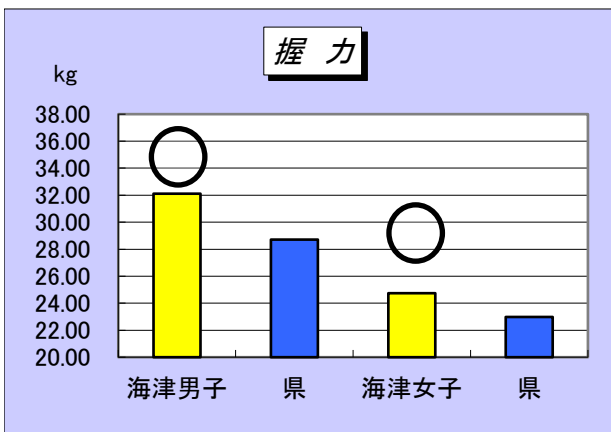
○全8種目中、男子では7種目が、女子では5種目が県平均を上回った。

●男女ともにシャトルランにおいて県平均をやや下回った。

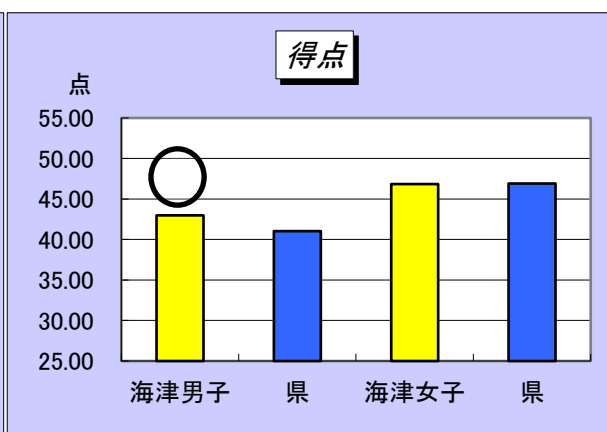
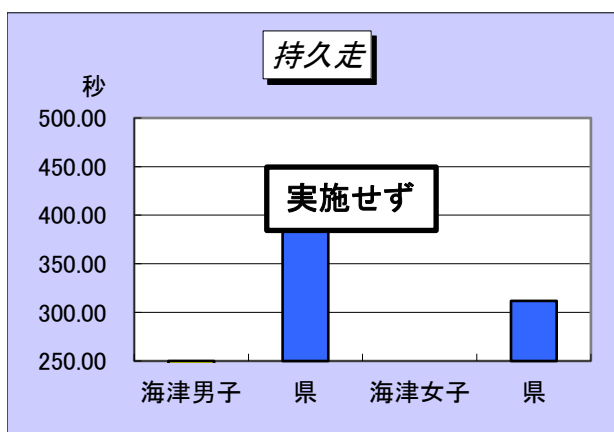
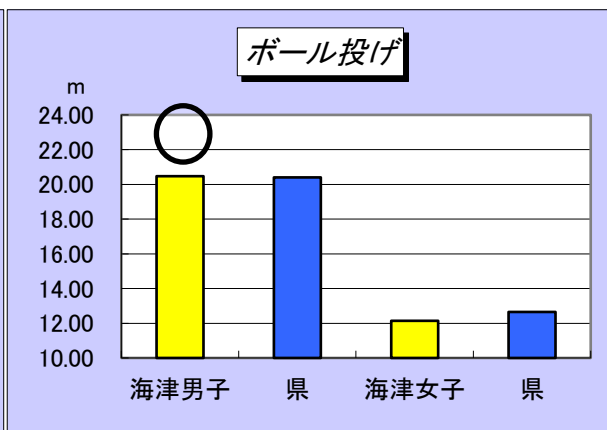
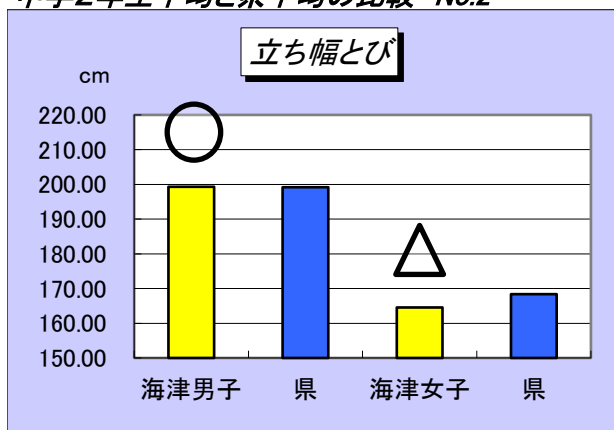
○男女ともに基礎的な体力を向上させることができているとあり、小中連携の成果であると考えられる。引き続き、教科研究部会等で話題にしながら実践を継続する。

中学2年生平均と県平均の比較 No.1

令和5年度 2年生	男子		女子	
	海津 平均	県 平均	海津 平均	県 平均
種目				
握力	32.11	28.71	24.74	22.98
上体起こし	25.92	25.48	20.15	21.02
長座体前屈	48.05	44.05	46.86	46.66
反復横とび	52.01	51.59	45.55	45.69
20mシャトルラン	73.12	75.32	45.28	48.51
50m走	7.88	7.99	8.86	9.01
立ち幅とび	199.30	199.17	164.54	168.37
ボール投げ	20.47	20.40	12.14	12.65
持久走				311.85
得点合計	42.98	41.03	46.84	46.91



中学2年生平均と県平均の比較 No.2



<考察(2年生)>

○男子では、全8種目中、7種目において県平均を上回った。

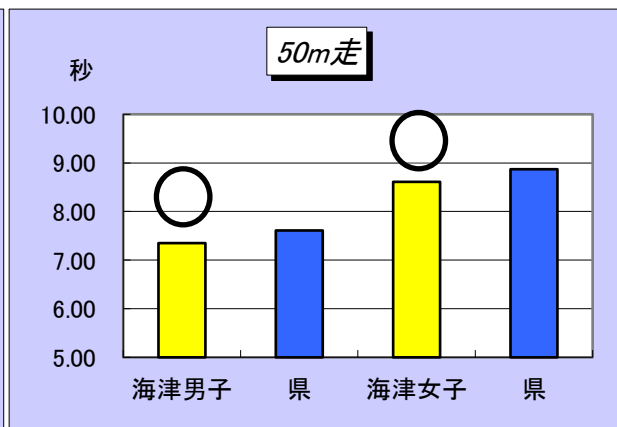
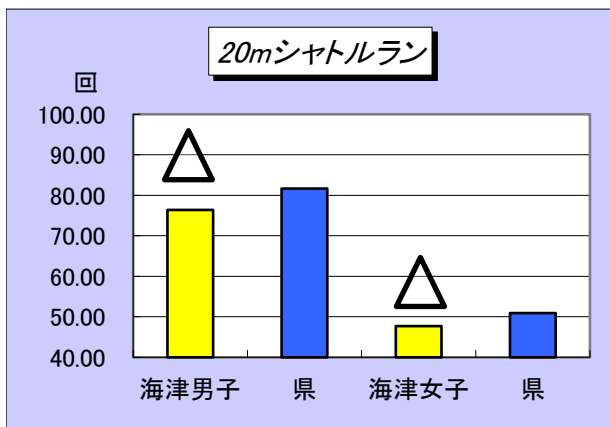
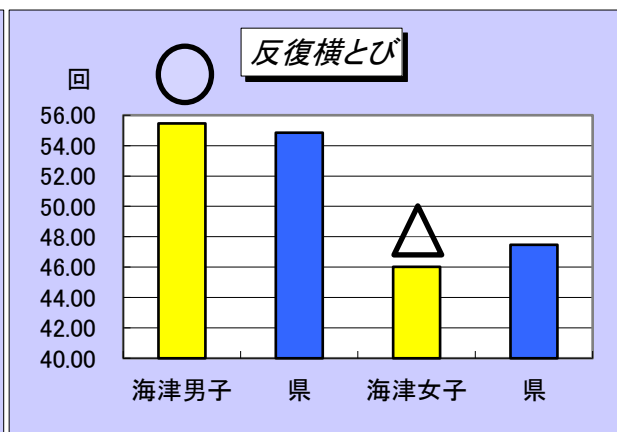
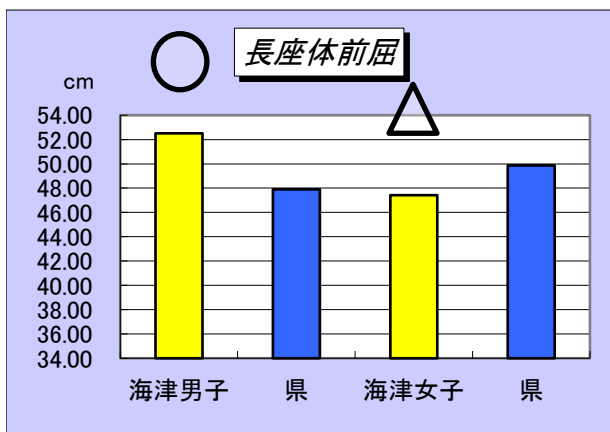
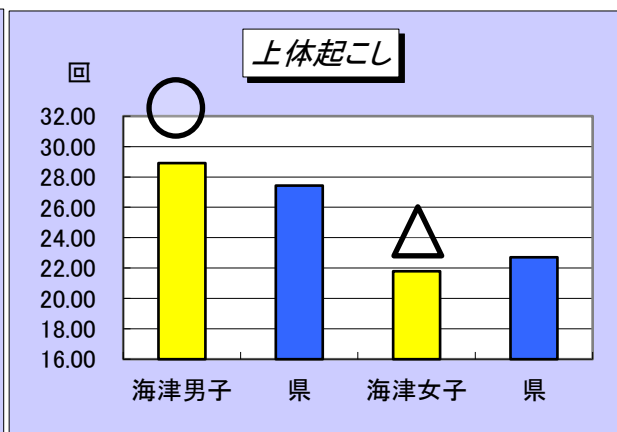
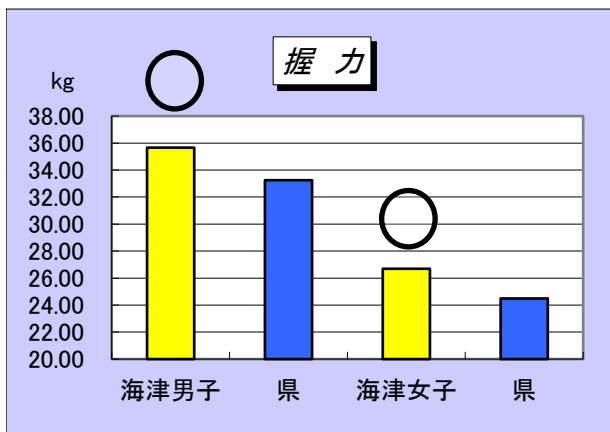
○総合得点では、男子は県平均を上回った。(＋1.96ポイント)

●女子では、全8種目中、5種目において県平均に至らなかった。(ポイント的には大きな差はない)

●男女共に、シャトルランにおいて、県平均に至らなかった。

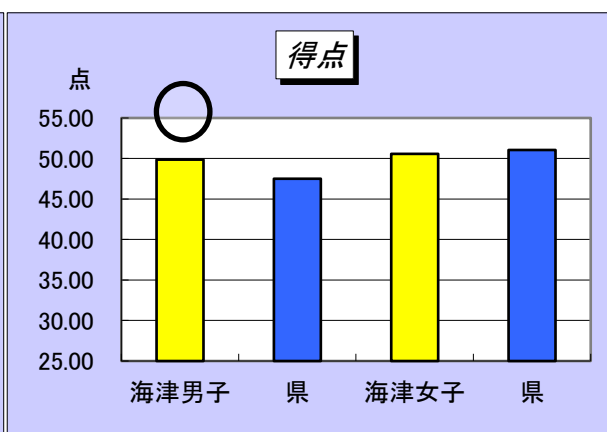
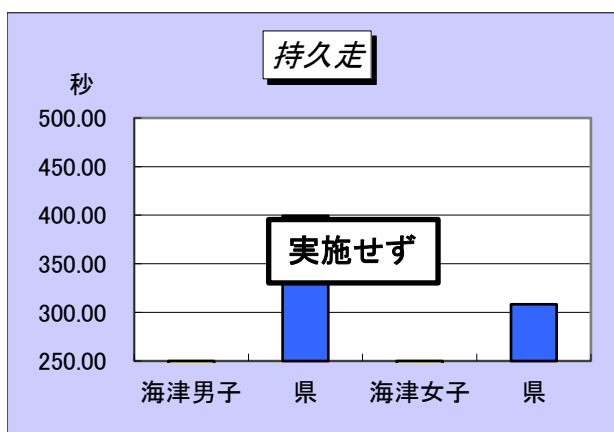
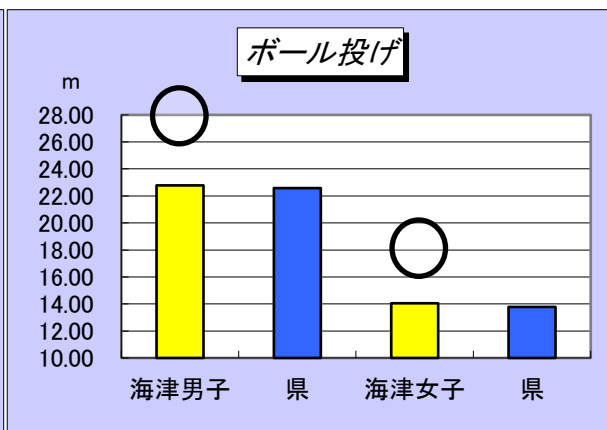
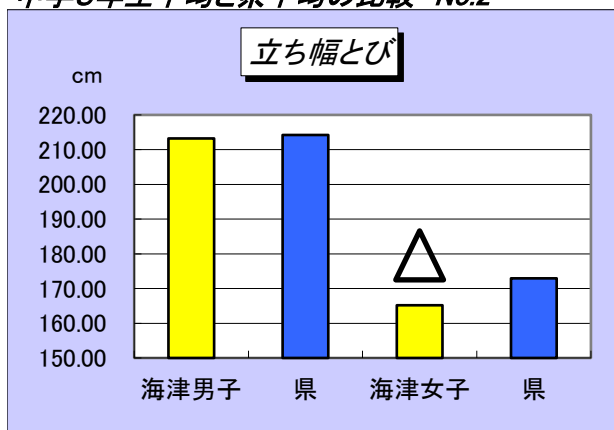
中学3年生平均と県平均の比較 No.1

令和5年度 3年生 種目	男子		女子	
	海津 平均	県 平均	海津 平均	県 平均
握力	35.66	33.25	26.69	24.49
上体起こし	28.91	27.43	21.79	22.71
長座体前屈	52.51	47.90	47.42	49.87
反復横とび	55.46	54.85	46.02	47.47
20mシャトルラン	76.39	81.66	47.71	50.92
50m走	7.35	7.61	8.61	8.87
立ち幅とび	213.22	214.22	165.18	172.93
ボール投げ	22.78	22.58	14.05	13.78
持久走		399.30		308.36
得点合計	49.86	47.50	50.57	51.05





中学3年生平均と県平均の比較 No.2

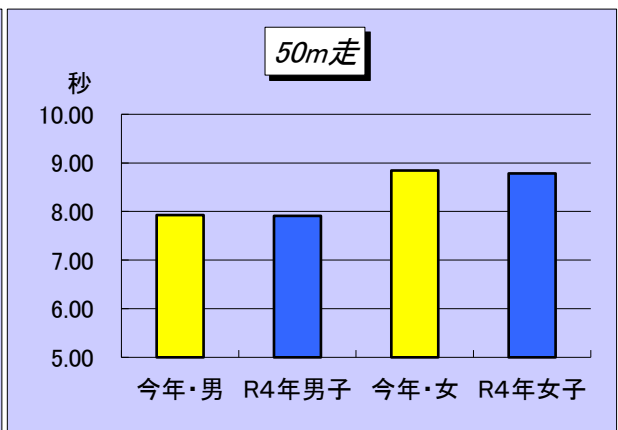
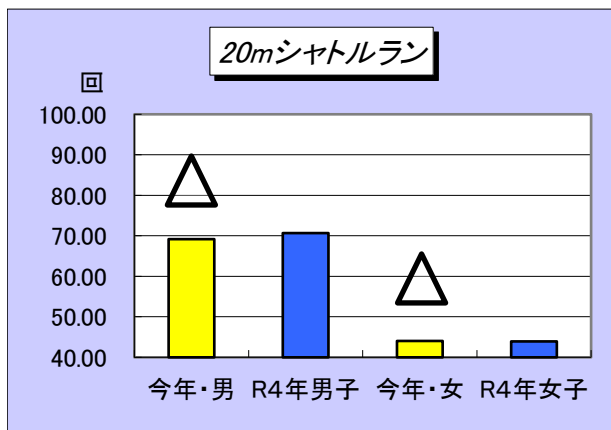
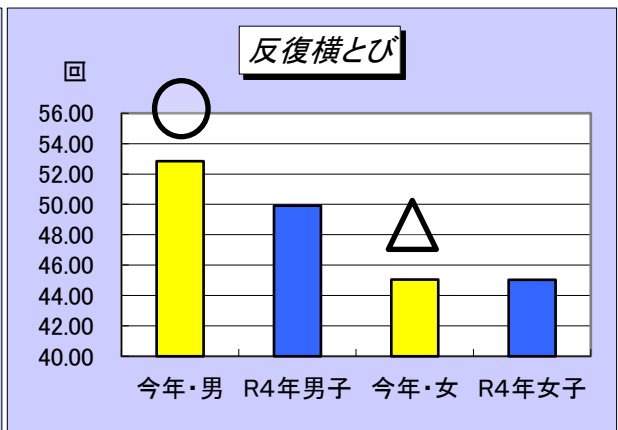
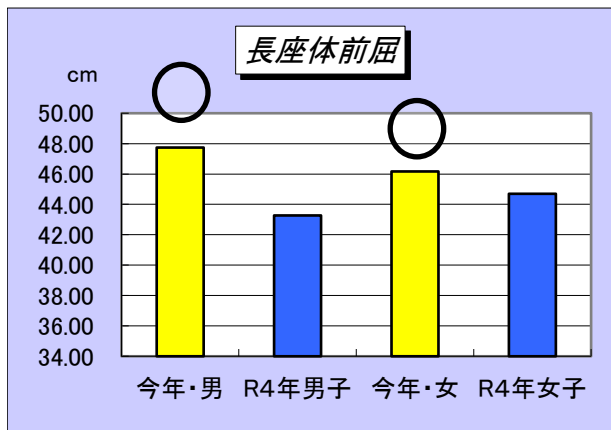
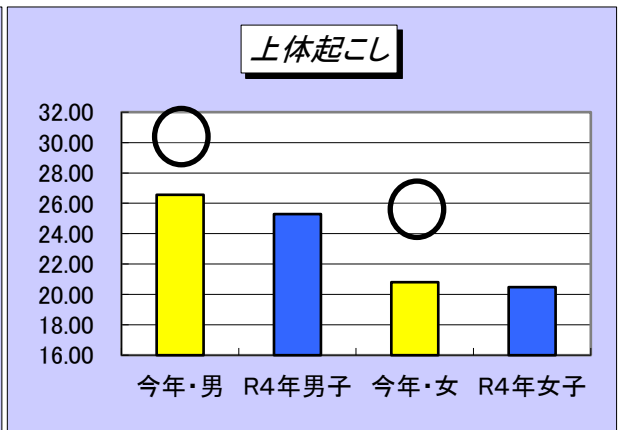
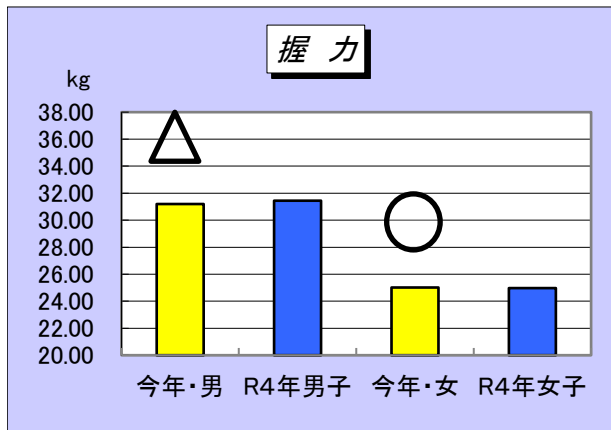


<考察(3年生)>

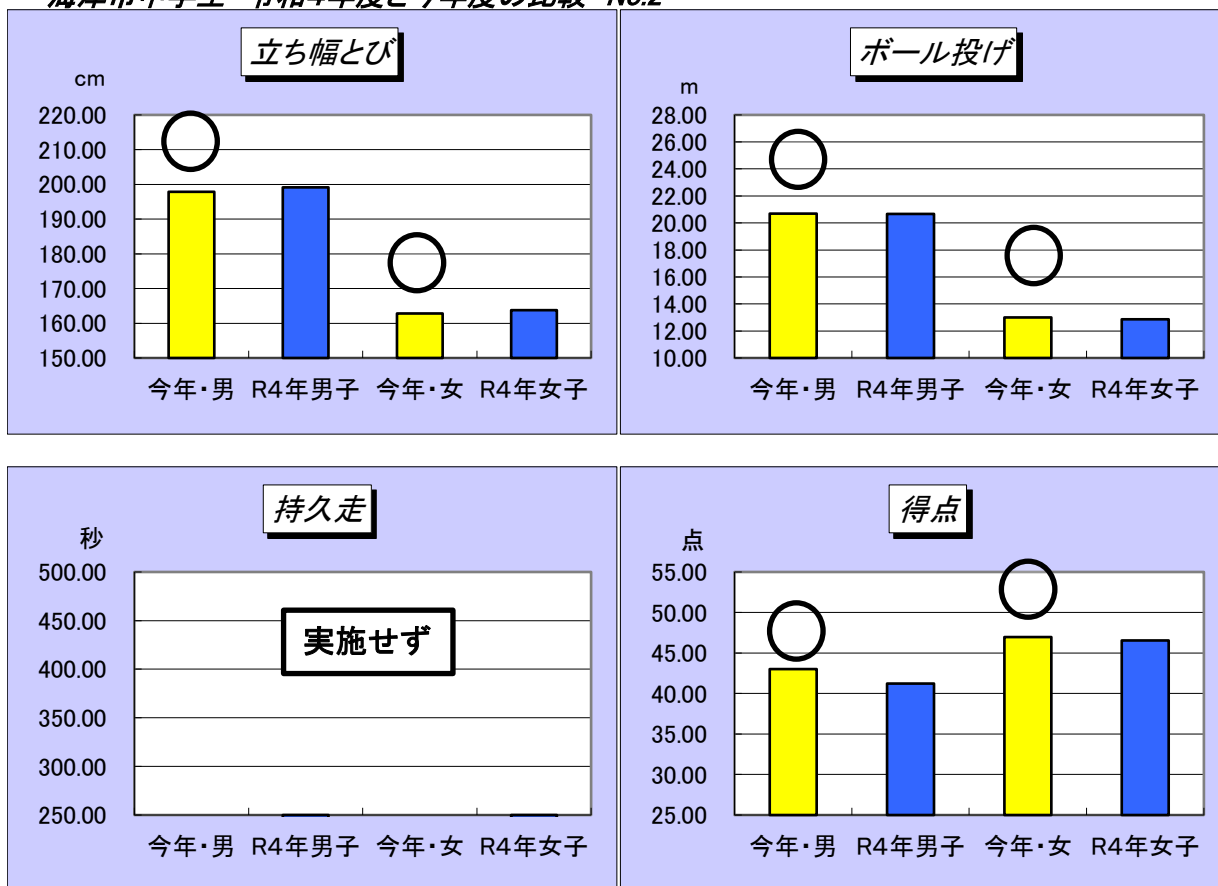
- 男子では、8種目中6種目において県平均を上回った。
- 総合得点では、男子は県平均を上回った。(＋2.36ポイント)
- 女子では、全8種目中、5種目において県平均に至らなかった。
- 男女共に、シャトルランにおいて、県平均に至らなかった。

海津市中学生 令和4年度と今年度の比較 No.1

海津市	男子		女子	
	今年度	令和4年度	今年度	令和4年度
種目	平均	平均	平均	平均
握力	31.20	31.44	25.01	24.97
上体起こし	26.56	25.29	20.81	20.48
長座体前屈	47.74	43.27	46.17	44.70
反復横とび	52.84	49.91	45.05	45.03
20mシャトルラン	69.18	70.67	44.04	43.93
50m走	7.93	7.91	8.84	8.78
立ち幅とび	197.85	199.13	162.81	163.76
ボール投げ	20.69	20.67	13.00	12.86
持久走				
得点合計	43.01	41.23	46.97	46.55



海津市中学生 令和4年度と今年度の比較 No.2



<考察(全体)>

昨年度の分析として、コロナ禍においても海津市における中学生の体力の低下は見られなかったことを述べたが、今年度は、さらに、男女ともに総合得点を向上させることができた。特に、男子の総合ポイントにおいては、昨年度よりも1.78ポイントと大幅に向上した。学校の体育授業や部活動、海津市地域クラブ活動での継続的な取組の成果であると考えられる。ただし、全身持久力のシャトルランにおいては、すべての学年において、平均値よりも低い値であったことから、全身持久力を高める運動を効果的に取り入れるなど、指導方法の工夫・改善が望まれるところである。引き続き、児童生徒にとって、部活動や海津市地域クラブ活動をはじめとした多様な選択肢の中で、生涯学習に繋がる主体的な活動を推進していきたい。